

<目次> 令和元年度 主要事業等実施の状況及び事務事業評価結果（一般会計）

款	項	目	事務事業名	頁
10	1	1	教育委員会運営事務	1
10	1	2	教育委員会事務局運営事務	2
10	1	2	地域とともにある学校づくり推進事業	3
10	1	3	就学指導事業	5
10	1	3	外国語教育推進事業	6
10	1	3	教職員研修・研究等推進事業	7
10	1	3	いじめ・不登校対策事業	8
10	1	3	文化・体育活動振興事業	9
10	1	3	特別支援教育推進事業	10
10	1	3	学力向上・教育課程管理事業	11
10	1	4	教員住宅管理業務	12
10	1	5	通学自動車運行事業	13
10	1	5	その他教育総務事務	15
10	1	5	幼児教育推進事業	16
10	1	5	専門学校・大学による高等教育推進事業	17
10	1	5	高等学校教育推進事業	20
10	2	1	小学校管理業務	23
10	2	2	小学校教育振興事業	24
10	2	2	小学校就学援助事業	25
10	2	2	小学校情報化教育推進事業	27
10	3	1	中学校管理業務	28
10	3	2	中学校教育振興事業	29
10	3	2	中学校就学援助事業	31
10	3	2	中学校情報化教育推進事業	33
10	4	1	社会教育委員活動事務	34
10	4	2	各種講座・教室等実施事業	36
10	4	2	各種大学等実施事業	37
10	4	2	一般社会教育事務	38
10	4	2	成人式実施事業	39
10	4	2	家庭教育事業	41

款	項	目	事務事業名	頁
10	4	2	異文化活動事務	42
10	4	2	学習活動情報提供事務	43
10	4	2	男女共同参画推進業務	44
10	4	3	青少年育成事業	45
10	4	3	青少年非行防止活動業務	47
10	4	3	青少年安全対策事務	48
10	4	4	芸術・文化活動業務	49
10	4	4	芸術文化交流館管理運営業務	50
10	4	5	スポーツ推進委員事務	51
10	4	5	スポーツ教室開設事業	52
10	4	5	健康都市宣言等事業	54
10	4	5	B&G海洋センター事業	55
10	4	5	各種体育団体助成事業	57
10	4	5	各種スポーツ大会等招致	59
10	4	6	学校体育施設開放事業	61
10	4	6	各種社会体育施設管理運営業務	62
10	4	7	総合運動公園維持管理業務	63
10	4	8	市民会館・青年センター管理運営業務	65
10	4	8	社会教育施設有効活用業務	67
10	4	9	図書館管理運営業務	68
10	4	9	読書普及活動	70
10	4	9	視聴覚ライブラリー運営事務	73
10	4	10	星の降る里百年記念館管理運営業務	74
10	4	10	文化財保護事業	76
10	4	11	合宿振興事業	77
10	5	1	学校保健及び各種検診事業	79
10	5	1	体育振興事業	80
10	5	2	学校プール管理運営業務	81
10	5	3	学校給食事業	82
10	6	1	学校林管理運営事務	84

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	1 教育委員会費
事務事業名	教育委員会運営事務				
決算額(円)	財源内訳(円)				
2,933,450	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					2,933,450
事業目的	教育委員会の運営を適正、円滑に行う。				
事業内容及び成果	<p>教育委員会議を定期的に、または必要に応じて開催するとともに、学校視察などを実施し、学校教育をはじめとした教育行政を推進するため、適切に教育委員会の運営を行った。</p> <p>(1) 定例教育委員会開催回数 12回</p> <p>(2) 学校視察等の延回数 29回</p>				

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	地方自治法 地方教育行政の組織及び運営に関する法律ほか		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第16条の規定に基づく芦別市教育委員会会議規則により、定期的又は必要に応じて開催している。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>	総合判定		
今後も教育委員会会議・学校視察等を実施し、教育行政の推進を図っていく。	継続		

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費
事務事業名	教育委員会事務局運営事務				
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)				
336,420	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					336,420
事業目的	教育委員会事務局の円滑な運営を目指す。				
事業内容及び成果	教育委員会事務局の運営に関する事務を適切に行った。				

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律			
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	教育委員会事務局の円滑な運営を図るため必要である。		
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—		
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
<今後の方向性>	今後も他市町教育委員会と連携しながら、教育委員会事務局の円滑な運営に努めていく。			総合判定
				継続

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費																
事務事業名	地域とともにある学校づくり推進事業																				
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)																				
392,062	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																
					392,062																
事業目的	<p>令和元年5月に芦中校区（芦小・芦中）及び啓中校区（上小・啓中）に、それぞれコミュニティスクール（学校運営協議会）を設置した。これにより、学校が家庭や地域と連携・協力しながら特色のある教育活動を展開するとともに、学校評価の実施により学校の教育目標達成に向けて、組織的・継続的な改善及び学校教育の質の向上を図りながら、地域や社会に開かれた学校づくりを推進していく。</p>																				
事業内容及び成果	<p>1 コミュニティスクール（学校運営協議会）は令和元年5月に発足し、芦別市合同学校運営協議会を年2回開催、中学校区学校運営協議会連絡調整会議を年4回開催、また、令和元年8月21日には北広島市立西部中学校に先進地視察を実施。地域へのコミュニティスクールの認知や理解度を深めるため、広報での周知活動や外部講師を招いた研修会を実施した。</p> <p>2 学校が求める支援内容に対して、ボランティアを募集・登録（無償）し、学校の教育活動・学校行事等に対する支援を行った。</p> <p>学校支援ボランティア活動状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>団体の名称</th> <th>登録人数</th> <th>ボランティアの内容</th> <th>活動実施校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芦別スキー連盟</td> <td>9人</td> <td>スキーの指導</td> <td>芦別小学校 上芦別小学校 啓成中学校</td> </tr> <tr> <td>芦別柔道連盟</td> <td>2人</td> <td>柔道の指導</td> <td>芦別中学校 啓成中学校</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>11人</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					団体の名称	登録人数	ボランティアの内容	活動実施校	芦別スキー連盟	9人	スキーの指導	芦別小学校 上芦別小学校 啓成中学校	芦別柔道連盟	2人	柔道の指導	芦別中学校 啓成中学校	合 計	11人		
団体の名称	登録人数	ボランティアの内容	活動実施校																		
芦別スキー連盟	9人	スキーの指導	芦別小学校 上芦別小学校 啓成中学校																		
芦別柔道連盟	2人	柔道の指導	芦別中学校 啓成中学校																		
合 計	11人																				

次頁へ続く

< 事務事業評価結果 >

根拠・関係法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	学校運営及び運営に対する支援を行うため必要である。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	既存の事業を地域・学校・保護者で実施していくためのつなぎ役として、学校運営協議会委員が担うことを確認できたほか、広報活動等を通じて地域へのコミュニティスクールの認知や理解度を深めることができた。	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
< 今後の方向性 >		総合判定	
<p>各種団体及び市民に対して、コミュニティスクールについての理解を深めてもらうため研修会、広報活動等を実施するほか、学校運営協議会を中心に学校支援のあり方について議論を継続し、学校支援ボランティアの充実を図っていく。また、学校運営協議会の部会である学校関係者評価部会により、学校の運営状況について評価を行い、その評価された内容を学校経営及び教育活動の改善に役立てるよう、評価部会の機能の充実を図っていく。</p>		<p><b>継 続</b></p>	

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	3 教育指導費
事務事業名	就学指導事業				
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)				
49,876	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					49,876
事業目的	児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育的支援を適切に行い、人間性豊かな児童生徒の育成を図る。				
事業内容及び成果	芦別市教育支援委員会の開催 (4回)				

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	芦別市教育支援委員会設置規則				
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	障がいのある児童生徒及び困り感を持った児童生徒の特性に合った就学先を協議し、適正な就学に関し、その指導を行うために必要である。			
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—			
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—			
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
<今後の方向性>					総合判定
今後も教育支援委員会で適切な協議を行い、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに即した、きめ細やかな就学指導を実施していく。					<b>継 続</b>

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	3 教育指導費
事務事業名		外国語教育推進事業			
決算額(円)		財源内訳(円)			
8,175,000		国庫支出金	道支出金	市債	その他 一般財源
					8,175,000
事業目的					
<p>外国語(英語)を通じて、言語や文化についての理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図るとともに、他国の生活や文化などを体験・調査するなどの学習活動を行うことにより、国際理解や国際交流を推進し、その充実を図ることを目的とする。</p>					
事業内容及び成果					
<p>英語指導助手(ALT)2人を小学校及び中学校に1人ずつ配置し、授業の協力者として学級(教科)担任を補助したほか、ALTと英語を話し合うことにより、基礎的なコミュニケーション能力の向上などの効果が生まれた。</p>					

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通の <input type="checkbox"/> 低い	<p>小学校においては英語科教諭がいないことや、中学校においては聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養うため、教師を補助する英語指導助手が必要である。</p>
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
<今後の方向性>		総合判定
<p>小学校の外国語活動の増加や外国語の教科化に対応し、さらに中学校の外国語指導の充実を図るため、引き続き英語指導助手を派遣し、社会の国際化に対応していく。</p>		継続



款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	3 教育指導費
事務事業名	教職員研修・研究等推進事業				
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)				
827,627	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					827,627
事業目的	教師としての指導力と資質の向上に結びつく研修・研究等の充実を図ることを目的とする。				
事業内容及び成果	学校及び教育振興会等各種教育諸団体における研修体制と事業の実施を支援した。				

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律、教育公務員特例法、芦別市学校教育推進計画				
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通の <input type="checkbox"/> 低い	い 通 い	教育の成果の多くは、教員の指導力によるものであることから、研修活動の充実を図り、相互に研鑽しあう環境を構築し、教員としての確かな指導力及び資質の向上を図る機会を創出する必要がある。		
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した		—		
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		—		
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
<今後の方向性>					総合判定
今後も北海道立教育研究所等の派遣講師を活用した、地元での長期休業期間中の研修会の実施など、多数の教職員が参加できる研修機会の創出に努めていく。					<b>継 続</b>

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	3 教育指導費
事務事業名	いじめ・不登校対策事業				
決算額(円)	財源内訳(円)				
80,631	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					80,631
事業目的	<p>不登校及びいじめ等の心の問題を解決するため、心の触れ合いを大切に、一人ひとりの児童生徒の個性の伸長を図りつつ、社会的な資質や能力・態度と自己指導能力を育成し、生徒指導の充実を図ることを目的とする。</p>				
事業内容及び成果	<p>1 教育委員会の組織として、「適応指導教室」を設置し、学校に行くことができない児童生徒を受け入れ、適応指導教室専任指導員1人を配置し、その指導の下、個別活動、集団活動、体験活動等を行うことによって、学習習慣とコミュニケーション能力を身につけ、対人関係の改善を図った。</p> <p>2 学校における生徒指導校内委員会などの問題行動に対応する組織体制の機能を充実させるための指導、助言を行った。</p> <p>3 関係機関(家庭児童相談員・児童相談所等)との連携を図り、問題行動の解決に当たった。</p> <p>4 スクールカウンセラーを1人配置(道事業)し、教育相談体制を充実させ、問題行動の解決に当たった。</p> <p>5 芦別市いじめ問題対策連絡協議会の開催 委員13人 2回開催(8月・3月。3月は書面開催)</p> <p>6 各種事業の開催・参加</p> <p>(1) どさんこ☆子ども地区会議参加 令和2年1月25日(土)・岩見沢市・児童生徒8人</p> <p>(2) 芦別市仲間づくり「子ども会議」開催 令和元年12月19日(木)・芦別市・児童生徒16人</p>				

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	いじめ防止対策推進法、芦別市いじめ問題対策連絡協議会等条例				
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	生徒指導の充実を図り、不登校及びいじめ等の心の問題を解決し、児童生徒が安心して学校での学習その他活動に取り組めるよう対応する必要がある。			
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—			
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—			
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
<今後の方向性>					総合判定
今後も不登校の発生予防と解消に向けた取組及び、いじめ根絶に向けた取組を推進していく。					継続

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	3 教育指導費															
事務事業名	文化・体育活動振興事業																			
決算額(円)	財源内訳(円)																			
2,817,878	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源															
					2,817,878															
事業目的	児童生徒の健康増進と体力の向上及び芸術に対する造詣を深め、自主性・協調性・責任感・連帯感などを育成し、他校との親睦を図る。																			
事業内容及び成果	<p>1 児童生徒の文化・体育振興行事開催を教育振興会に委託し、実施した。</p> <p>&lt;児童生徒教育振興行事開催委託&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>参加校</th> <th>参加人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>絵画書道展</td> <td>4校</td> <td>252人</td> </tr> <tr> <td>音楽発表会</td> <td>4校</td> <td>204人</td> </tr> <tr> <td>鑑賞会</td> <td>2校</td> <td>336人</td> </tr> <tr> <td>新体力テスト記録会</td> <td>2校</td> <td>129人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 児童等対外競技、中体連体育大会及び児童又は生徒の文化行事の参加について、必要な経費を補助した。</p>					区分	参加校	参加人員	絵画書道展	4校	252人	音楽発表会	4校	204人	鑑賞会	2校	336人	新体力テスト記録会	2校	129人
区分	参加校	参加人員																		
絵画書道展	4校	252人																		
音楽発表会	4校	204人																		
鑑賞会	2校	336人																		
新体力テスト記録会	2校	129人																		

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令			
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	体育競技・文化行事等に参加することにより、児童生徒の健康増進・体力向上及び文化・芸術に対する造詣を深めるとともに、他校との親睦を図るために必要である。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	芦別市PTA連合会から、中学校の部活動に対する対外競技出場補助について、貸切バス料金の高騰を受けて保護者負担の軽減要望が出されている。	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>	総合判定		
今後も教育振興会事業を実施していく。なお、児童生徒等対外競技出場補助金については、上記要望の内容を踏まえ、補助率の見直しについて検討していく。	継続		

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	3 教育指導費
事務事業名	特別支援教育推進事業				
決算額(円)	財源内訳(円)				
17,940,270	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
			17,900,000		40,270
事業目的	LD、ADHD、高機能自閉症等の障がい及び学習面につまづきのある児童生徒に対して、その一人ひとりの教育的ニーズを把握し、当該児童生徒の持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するために、適切な教育を通じて個々の特性に応じた必要な支援を行う。				
事業内容及び成果	<p>1 通常学級における困り感・つまづき感のある児童生徒の個性に応じたきめ細やかな支援を行うために、小中学校4校に学習支援員をそれぞれ1人ずつ配置した。</p> <p>2 特別支援学級に在籍する児童生徒の学習や校内生活の補助的役割を担う、特別支援学級補助員を学級在籍児童生徒の人数に応じて各学校に配置した。</p> <p>3 特別支援学級に在籍している児童生徒については、保護者から同意を得て「個別の教育支援計画」を作成し、関係機関と連携を図りながら児童生徒への支援を行った。</p> <p>4 通常学級において特別な支援を要する児童生徒が増えていることに加え、保護者のニーズが高いことから、平成30年度より芦別小学校に新たに通級指導教室を開設し、言語障害、学習障害など児童の障がいの特性に応じた個別の支援を行った。</p>				

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令			
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い		児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、適切な教育環境を整え、個々の特性に応じた支援を行っていく必要がある。
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した		—
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		—
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>			総合判定
今後も学習支援員や特別支援学級補助員の配置を行うとともに、関係機関と連携を図りながら、児童生徒の特性に応じた支援を行っていく。			<b>継続</b>

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	3 教育指導費
事務事業名	学力向上・教育課程管理事業				
決算額(円)	財源内訳(円)				
7,422,895	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					7,422,895
事業目的	<p>次代を担う子どもたちのために、創意に満ちた調和と統一のある教育課程を編成し、児童生徒に基礎的・基本的な学力の定着を図り、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けさせる。</p>				
事業内容及び成果	<p>1 全国学力・学習状況調査及び市内統一学力テスト（CRT）を実施した。（CRTについては、新型コロナウイルス感染症対策による臨時休業のため小学校のみ実施）</p> <p>2 基礎的・基本的な学力を身に付けるため、家庭学習の習慣化を進めることが必要なことから、家庭学習用ドリルワークを購入し児童生徒に配布した。</p> <p>3 芦別小学校・上芦別小学校それぞれに学習サポート教員を1人配置し、TT（チームティーチング）指導等による基礎基本の定着に必要なきめ細やかで質の高い学習環境の確保を図った。</p> <p>4 読む力・考える力などを付けるため、新聞を活用した授業・校内掲示などを実施した。</p> <p>5 小中学校の教員及び学校教育専任指導員が、学力上位県である沖縄県の小学校の視察を行い、学力の向上を図るため、その成果を教職員に還元した。</p>				

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令			
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通の <input type="checkbox"/> 低い		本市の児童生徒の学力状況について、徐々に成果が表れてきているものの、全国との学力に大きな課題を抱えているため、学力の基礎基本を定着させるための様々な取組が必要である。
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した		各学校における取組により、家庭学習の定着が見られる。また、教員の道外研修等の成果として授業改善が図られている。
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		—
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>			総合判定
漢字検定などの各種検定料助成事業の継続、新聞の活用、児童生徒へのドリルワークの購入等のほか、学習サポート教員を配置することなどにより、児童生徒の基礎的・基本的な学力を身に付けさせ、学力の底上げを図っていく。			継続

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	4 教員住宅管理費												
事務事業名	教員住宅管理業務																
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)																
3,942,864	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源												
				2,558,900	1,383,964												
事業目的	教員住宅の適正な管理を行い、住宅の耐用年数延長及び居住の快適性を維持する。																
事業内容及び成果	<p>1 教員住宅の管理を行った。</p> <table border="1"> <tr> <td>管理戸数</td> <td>入居戸数</td> <td>入居率</td> </tr> <tr> <td>16戸</td> <td>12戸</td> <td>75%</td> </tr> </table> <p>2 教員住宅修繕</p> <table border="1"> <tr> <td>浴室・脱衣室改修工事</td> <td>2戸</td> <td>3,866,400円</td> </tr> <tr> <td>その他小破修繕</td> <td>延3件</td> <td>76,464円</td> </tr> </table>					管理戸数	入居戸数	入居率	16戸	12戸	75%	浴室・脱衣室改修工事	2戸	3,866,400円	その他小破修繕	延3件	76,464円
管理戸数	入居戸数	入居率															
16戸	12戸	75%															
浴室・脱衣室改修工事	2戸	3,866,400円															
その他小破修繕	延3件	76,464円															

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	芦別市職員住宅貸与規則		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	教員住宅の入居者の住宅環境の充実のため、教員住宅の維持管理に努める必要がある。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>		総合判定	
今後も校長及び教頭住宅の良好な住宅環境の整備に努めるとともに、現在入居者がいるその他の住宅については、当面継続して貸与するために必要とされる整備を行っていく。		<b>継 続</b>	

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	5 諸費																					
事務事業名	通学自動車運行事業																									
決算額(円)	財源内訳(円)																									
13,625,338	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																					
					13,625,338																					
事業目的	<p>小中学校の統合に伴う児童生徒及び徒歩による通学が困難な地域に居住する児童生徒の通学手段を確保する。また、学校行事等のために通学時以外にスクールバスを運行することにより、学校教育の円滑な実施に資する。</p>																									
事業内容及び成果	<p>小中学校の統合に伴い、通学校が変更となった児童生徒に対しては、市で購入したスクールバスを業者へ貸与し運行を委託するとともに、学校行事等のための通学時以外の運行は、スクールバスの委託業者と別途委託契約を締結し、円滑に事業が遂行された。</p> <p>なお、野花南地区については令和元年度から、対象児童数の減少等から野花南北線と野花南南線を統合し野花南線として一本化を図った。</p> <p>(1) スクールバスの運行業務委託</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th>委託料(年額)</th> <th>対象校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>常磐線</td> <td>2,681,400円</td> <td>芦別小、芦別中</td> </tr> <tr> <td>新城線</td> <td>2,943,000円</td> <td>芦別小、芦別中</td> </tr> <tr> <td>野花南線</td> <td>3,891,300円</td> <td>上芦別小、啓成中</td> </tr> <tr> <td>西芦別線</td> <td>3,052,000円</td> <td>上芦別小、啓成中</td> </tr> <tr> <td>通学時以外</td> <td>889,638円</td> <td>全小中学校</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>13,457,338円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 自動車借上</p> <p>市の車両・スクールバスで対応不可である学校行事に対してバスを借上げた。</p> <p>3回 延べ3台 168,000円</p>					路線名	委託料(年額)	対象校	常磐線	2,681,400円	芦別小、芦別中	新城線	2,943,000円	芦別小、芦別中	野花南線	3,891,300円	上芦別小、啓成中	西芦別線	3,052,000円	上芦別小、啓成中	通学時以外	889,638円	全小中学校	合計	13,457,338円	
路線名	委託料(年額)	対象校																								
常磐線	2,681,400円	芦別小、芦別中																								
新城線	2,943,000円	芦別小、芦別中																								
野花南線	3,891,300円	上芦別小、啓成中																								
西芦別線	3,052,000円	上芦別小、啓成中																								
通学時以外	889,638円	全小中学校																								
合計	13,457,338円																									

次頁へ続く

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	小中学校の統合による通学困難地域に居住する児童生徒の通学手段を確保する必要がある。
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
<今後の方向性>		総合判定
今後も通学時以外の学習活動や学校行事に対してもスクールバスの運行を行うなど、学校要請に合わせた効率的な運行に努めていく。		<b>継 続</b>



款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	5 諸費
事務事業名	その他教育総務事務				
決算額(円)	財源内訳(円)				
1,000	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					1,000
事業目的	本市の教育施設整備の際に必要な北海道公立文教施設整備期成会に対する負担金を支出する。				
事業内容及び成果	負担金 1,000円				

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令			
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い		文教施設整備事業の予算確保について、国へ要望活動を行うための必要な負担金である。
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した		—
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		—
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>			総合判定
本市の教育施設整備の際に必要な文教施設整備事業の予算確保のためにも、今後も継続して負担していく。			<b>継続</b>

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	5 諸費	
事務事業名	幼児教育推進事業					
決算額(円)	財源内訳(円)					
208,000	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源	
			200,000		8,000	
事業目的	健やかで心豊かな子どもを育む幼稚園教育に必要な運営及び教育環境の整備、並びに幼稚園児保護者の経済的負担の軽減を図る。					
事業内容及び成果	私立幼稚園に運営補助金を交付した。  私立学校運営費補助					
	住所区分	市内		市外		合計
園名	人数	助成額 (2,000円/人)	人数	助成額 (1,000円/人)	人数	助成額 合計
芦別みどり幼稚園	104人	208,000円	0人	0円	104人	208,000円

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	芦別市私立学校助成条例 芦別市私立幼稚園就園奨励費補助金交付条例	
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	幼稚園教育に必要な運営及び教育環境の整備、並びに保護者の経済的負担の軽減を図るために必要である。
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
<今後の方向性>	総合判定	
今後も運営補助金の交付を継続することにより、私立幼稚園の健全な発展を支援していく。	継続	

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	5 諸費																																								
事務事業名	専門学校・大学による高等教育推進事業																																												
決算額(円)	財源内訳(円)																																												
25,886,524	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																																								
			400,000	2,520,000	22,966,524																																								
事業目的	<p>1 私立学校の振興発展及び教育の充実に資する。</p> <p>2 専門学校等への修学が困難な者に対して、修学を奨励し、職業に必要な能力を育成する。</p>																																												
事業内容及び成果	<p>市内専門学校への修学が困難な者に対する奨学金の貸付を行った。 また、市内私立学校への運営補助、及び市内私立学校入学生の保護者へ修学奨励金を交付した。</p> <p>(1) 専修学校奨学金貸与状況</p> <p>① 貸与件数 25件</p> <p>② 貸与金額 17,280,000円  (内訳) 新規分 月額60,000円×12月×11人=7,920,000円  月額60,000円×6月×1人=360,000円  継続分 月額60,000円×12月×12人=8,640,000円  月額30,000円×12月×1人=360,000円</p> <p>③ 滞納徴収にかかる普通旅費 25,300円</p> <p>(2) 私立学校運営費補助内訳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">住所区分 学校名</th> <th colspan="2">市内</th> <th colspan="2">市外</th> <th colspan="2">合計 A</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>助成額 (10,000円/人)</th> <th>人数</th> <th>助成額 (1,000円/人)</th> <th>人数</th> <th>助成額 合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門学校北日本自動車大学校</td> <td>29人</td> <td>290,000円</td> <td>10人</td> <td>10,000円</td> <td>39人</td> <td>300,000円</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">住所区分 学校名</th> <th colspan="2">市内</th> <th colspan="2">市外</th> <th colspan="2">合計 B</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>助成額 (10,000円/人)</th> <th>人数</th> <th>助成額(a) (500円/人)</th> <th>人数</th> <th>助成額 合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>星槎大学</td> <td>13人</td> <td>130,000円</td> <td>27人</td> <td>13,500円</td> <td>40人</td> <td>143,500円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 助成額(a)は、市内に住所を有しない生徒であって、スクーリングのため来校する生徒</p> <p>交付額合計 (A+B) = 443,500円</p>					住所区分 学校名	市内		市外		合計 A		人数	助成額 (10,000円/人)	人数	助成額 (1,000円/人)	人数	助成額 合計	専門学校北日本自動車大学校	29人	290,000円	10人	10,000円	39人	300,000円	住所区分 学校名	市内		市外		合計 B		人数	助成額 (10,000円/人)	人数	助成額(a) (500円/人)	人数	助成額 合計	星槎大学	13人	130,000円	27人	13,500円	40人	143,500円
住所区分 学校名	市内		市外		合計 A																																								
	人数	助成額 (10,000円/人)	人数	助成額 (1,000円/人)	人数	助成額 合計																																							
専門学校北日本自動車大学校	29人	290,000円	10人	10,000円	39人	300,000円																																							
住所区分 学校名	市内		市外		合計 B																																								
	人数	助成額 (10,000円/人)	人数	助成額(a) (500円/人)	人数	助成額 合計																																							
星槎大学	13人	130,000円	27人	13,500円	40人	143,500円																																							

次頁へ続く

## (3) 修学奨励金交付内訳

学校名	区 分	人 数	助成額 A (300,000円/人)
専門学校北日本自動車大学校		20人	6,000,000円

学校名	住所区分 人数	市 内		市 外		合 計 B	
		人数	助成額 (10,000円/人)	人数	助成額 (5,000円/人)	人数	助成額 合 計
星槎大学	0人		0円	0人	0円	0人	0円

交付額合計 (A + B) = 6,000,000円

## (4) 学生確保対策補助金

学校名	区 分	入寮費 (10,000円/人)	部屋代 (5,000円×12ヶ月/人)	合 計
専門学校北日本自動車大学校		17人 170,000円	26人 1,535,000円	1,705,000円

※部屋代については、26人のうち1人分は、中途退寮により7ヶ月分の額。

## (5) 通学費補助金

学校名	住所	富良野市	滝川市	奈井江町	合 計
専門学校北日本自動車大学校		1人 230,650円	2人 185,644円	1人 16,430円	4人 432,724円

## (6) 入学生の状況 (各年度5月1日現在)

## ① 専門学校北日本自動車大学校

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
市 内	15人	10人	13人	17人	10人	8人	14人	17人
市 外	8人	2人	1人	1人	9人	1人	5人	3人
道 外	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
計	23人	12人	14人	18人	19人	9人	19人	20人

## ② 星槎大学芦別キャンパス

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
市 内	0人	1人	0人	1人	0人	0人	0人	0人
市 外	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
道 外	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
計	0人	1人	0人	1人	0人	0人	0人	0人

次頁へ続く

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	芦別市私立学校助成条例、芦別市修学奨励金交付条例、芦別市専修学校奨学金貸与条例		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	市をあげて誘致した学校の存続と入学生の確保のため、学校の運営に関する補助や学生に対する援助を行い、安定的な運営を支援する必要がある。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	各学校における学生募集活動や入学生に対する支援策等により、昨年度より入学者が増加した。	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>		総合判定	
今後も学校法人の運営に関する補助を行うことにより、安定的な運営を支援するとともに、入学生の確保対策として修学奨励金の交付、専修学校奨学金の貸付、北日本自動車大学生への通学費及び寮費助成制度について継続して実施していく。		<b>継 続</b>	

款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	5 諸費																																																																										
事務事業名	高等学校教育推進事業																																																																														
決算額(円)	財源内訳(円)																																																																														
19,926,660	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																																																																										
			3,100,000		16,826,660																																																																										
事業目的	高等学校の振興発展及び教育の充実に資する。																																																																														
事業内容及び成果	<p>1 私立学校の運営補助、及び修学者またはその保護者に対して助成を行った。</p> <p>(1) 私立学校運営費補助内訳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">住所区分 学校名</th> <th colspan="2">市内</th> <th colspan="3">市外</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>助成額 (10,000円/人)</th> <th>人数</th> <th>助成額(a) (1,000円/人)</th> <th>人数</th> <th>助成額(b) (500円/人)</th> <th>人数</th> <th>助成額 合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>星槎国際高等学校</td> <td>8人</td> <td>80,000円</td> <td>47人</td> <td>47,000円</td> <td>734人</td> <td>367,000円</td> <td>789人</td> <td>494,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 助成額(a)は、市内に住所を有しない生徒  2 助成額(b)は、市内に住所を有しない生徒(助成額(a)に該当する者を除く。)であって、スクーリングのため来校する生徒</p> <p>(2) 修学奨励金交付内訳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分 学校名</th> <th>助成額 (30,000円/人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>星槎国際高等学校</td> <td>7人 210,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 入学生の状況(各年度5月1日現在)</p> <p>星槎国際高等学校本部長</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内</td> <td>1人</td> <td>3人</td> <td>3人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>4人</td> <td>3人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>市外</td> <td>5人</td> <td>17人</td> <td>17人</td> <td>13人</td> <td>8人</td> <td>4人</td> <td>9人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>道外</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>6人</td> <td>20人</td> <td>20人</td> <td>14人</td> <td>9人</td> <td>8人</td> <td>12人</td> <td>6人</td> </tr> </tbody> </table>					住所区分 学校名	市内		市外			合計		人数	助成額 (10,000円/人)	人数	助成額(a) (1,000円/人)	人数	助成額(b) (500円/人)	人数	助成額 合計	星槎国際高等学校	8人	80,000円	47人	47,000円	734人	367,000円	789人	494,000円	区分 学校名	助成額 (30,000円/人)	星槎国際高等学校	7人 210,000円	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	市内	1人	3人	3人	1人	1人	4人	3人	0人	市外	5人	17人	17人	13人	8人	4人	9人	6人	道外	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	計	6人	20人	20人	14人	9人	8人	12人	6人
住所区分 学校名	市内		市外				合計																																																																								
	人数	助成額 (10,000円/人)	人数	助成額(a) (1,000円/人)	人数	助成額(b) (500円/人)	人数	助成額 合計																																																																							
星槎国際高等学校	8人	80,000円	47人	47,000円	734人	367,000円	789人	494,000円																																																																							
区分 学校名	助成額 (30,000円/人)																																																																														
星槎国際高等学校	7人 210,000円																																																																														
区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度																																																																							
市内	1人	3人	3人	1人	1人	4人	3人	0人																																																																							
市外	5人	17人	17人	13人	8人	4人	9人	6人																																																																							
道外	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人																																																																							
計	6人	20人	20人	14人	9人	8人	12人	6人																																																																							

次頁へ続く

2 芦別高校に在学する生徒の保護者に対して、通学費及び検定試験等受験料の助成を行った。

(1) 通学費助成の内訳

住所 \ 学年	1年生	2年生	3年生	合計
芦別市	0人 0円	4人 469,550円	1人 102,470円	5人 572,020円
赤平市	20人 2,683,460円	30人 4,622,120円	26人 4,229,586円	76人 11,535,166円
歌志内市	0人 0円	1人 189,720円	4人 996,014円	5人 1,185,734円
滝川市	1人 255,600円	4人 403,110円	9人 1,023,430円	14人 1,682,140円
深川市	1人 245,710円	0人 0円	0人 0円	1人 245,710円
合計	22人 3,184,770円	39人 5,684,500円	40人 6,351,500円	101人 15,220,770円

(2) 検定試験等受験料助成の内訳

種別 \ 学年	1年生	2年生	3年生	合計
各種検定等	延 10人 13,200円	延 64人 92,100円	延 47人 59,750円	延 121人 165,050円
模擬試験	延 2人 3,300円	延 30人 47,150円	延 53人 80,550円	延 85人 131,000円
合計	実人員 10人 延 12人 16,500円	実人員 42人 延 94人 139,250円	実人員 32人 延 100人 140,300円	実人員 84人 延 206人 296,050円

3 芦別高校に在学する生徒が大学へ進学するための活動支援として補助金を交付した。

北海道芦別高等学校学力向上等支援事業費補助金

事業名	参加人数	補助金額
予備校夏期講習体験	2人	152,640円
カタリ場イン芦別高校開催	62人	196,000円
合計	64人	348,640円

4 芦別高校に在学する生徒がグローバル社会に対応できるよう、外国語教育の充実を図るため、英語指導助手を派遣した。

英語指導助手等業務委託 英語指導助手 1人/週2回 3,357,200円

次頁へ続く

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	芦別市私立学校助成条例 芦別市修学奨励金交付条例		
1. 必要性 (市が実施しなければならぬ理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	道立の芦別高校のほか、市をあげて誘致した星椋国際高校の入学生確保のため、学校の運営に関する補助や生徒に対する援助を行い、安定的な運営を支援する必要がある。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	行政改革推進委員会から、生徒数の減少に直面している芦別高校をより魅力や特色のある学校とし、芦別高校への進学者を確保すべきとの提言を受けている。	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	令和2年度から芦別高校に入学する新1年生に対する通学費助成率を2分の1に改正している。なお、縮充及び生徒確保の観点から、市内中学校からの進学者には修学奨励費(市内限定商品券100千円)を新たに支給している。(新たな修学奨励費の支給により、令和2年度の市負担額は年額1,760千円増加となるが、令和3年度以降は通学費補助率の引き下げに伴う削減効果が発生していく。)
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>		総合判定	
星椋国際高校に対しては、学校法人の安定的な運営を支援するための補助制度、生徒確保対策のための修学奨励金交付制度を継続して実施していく。また、芦別高校に対しては、上記の提言を踏まえ、令和2年度から地元からの進学率を高めるための新たな助成措置を設けたことから、今後も間口確保に対する支援を行っていく。		<b>継 続</b>	



款	10 教育費	項	2 小学校費	目	1 学校管理費																														
事務事業名	小学校管理業務																																		
決算額(円)	財源内訳(円)																																		
52,412,222	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																														
				15,984,000	36,428,222																														
事業目的	各小学校の適切な管理運営を行い、教育環境の改善と充実を図る。																																		
事業内容及び成果	<p>小学校の管理運営</p> <p>(1) 学校別施設修繕関係</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芦別小学校</td> <td>1,004,985円</td> </tr> <tr> <td>上芦別小学校</td> <td>1,136,488円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,141,473円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 備品整備関係</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>備品名</th> <th>数量</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校2校</td> <td>強力裁断機</td> <td>2台(芦小・上小各1台)</td> <td>345,600円</td> </tr> <tr> <td>芦別小学校</td> <td>サッカーゴール、ネット</td> <td>1式</td> <td>381,240円</td> </tr> <tr> <td>芦別小学校</td> <td>木製書架2連2段、1連2段</td> <td>各1台</td> <td>165,780円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 小学校整備事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>事業内容</th> <th>総事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芦別小学校</td> <td>低学年棟屋上防水工事</td> <td>15,984,000円</td> </tr> </tbody> </table>					学校名	金額	芦別小学校	1,004,985円	上芦別小学校	1,136,488円	合計	2,141,473円	学校名	備品名	数量	金額	小学校2校	強力裁断機	2台(芦小・上小各1台)	345,600円	芦別小学校	サッカーゴール、ネット	1式	381,240円	芦別小学校	木製書架2連2段、1連2段	各1台	165,780円	学校名	事業内容	総事業費	芦別小学校	低学年棟屋上防水工事	15,984,000円
学校名	金額																																		
芦別小学校	1,004,985円																																		
上芦別小学校	1,136,488円																																		
合計	2,141,473円																																		
学校名	備品名	数量	金額																																
小学校2校	強力裁断機	2台(芦小・上小各1台)	345,600円																																
芦別小学校	サッカーゴール、ネット	1式	381,240円																																
芦別小学校	木製書架2連2段、1連2段	各1台	165,780円																																
学校名	事業内容	総事業費																																	
芦別小学校	低学年棟屋上防水工事	15,984,000円																																	

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	学校保健安全法、芦別市立学校設置条例、芦別市立学校管理規則		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	児童の教育環境の改善と充実を図るため、適切な管理が必要である。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	行政改革推進委員会から、人口減少が著しい中、将来に向けて小学校の統合を検討すべきとの提言を受けている。	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	電気料の特約割引等による削減効果額 394 千円/年
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
<今後の方向性>			総合判定
今後も適切な修繕等の対応を行い、安全・安心な学校施設の維持管理に努めていく。なお、上記の提言も踏まえ、芦別市立小中学校の配置基準の見直しを行い、検討を進めていく。			継続

款	10 教育費	項	2 小学校費	目	2 教育振興費																								
事務事業名	小学校教育振興事業																												
決算額(円)	財源内訳(円)																												
7,832,424	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																								
	112,000				7,720,424																								
事業目的	<p>1 小学校の授業用教材・教具等を整備することにより、効率的な教育の振興を図る。</p> <p>2 特別支援学級に在籍する児童の状態を適切に把握し、きめ細かい支援を行うため、障がい種ごとの学級に在籍している児童の人数に応じ、補助員を配置する。</p> <p>3 特別支援教育就学奨励費補助金の交付により、特別支援学級に就学している児童の世帯の経済的負担の軽減を図る。</p>																												
事業内容及び成果	<p>1 授業用教材、教具等を効果的に整備した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>教材名</th> <th>数量</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">芦別小学校</td> <td>スタンド付き移動ボード</td> <td>2台</td> <td>103,248円</td> </tr> <tr> <td>理科実験用ミニコンロ</td> <td>7台</td> <td>49,555円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">上芦別小学校</td> <td>トライアングル TZR-15N</td> <td>1個</td> <td>1,584円</td> </tr> <tr> <td>トライアングル TZR-18N</td> <td>1個</td> <td>1,683円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 特別支援学級への補助員の配置状況 芦別小学校 5人</p> <p>3 特別支援教育就学奨励費補助金の交付により、該当世帯の経済的負担の軽減を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人員</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特別支援教育就学奨励費補助</td> <td>2校 7人</td> <td>224,473円</td> </tr> </tbody> </table>					学校名	教材名	数量	金額	芦別小学校	スタンド付き移動ボード	2台	103,248円	理科実験用ミニコンロ	7台	49,555円	上芦別小学校	トライアングル TZR-15N	1個	1,584円	トライアングル TZR-18N	1個	1,683円	区分	人員	金額	特別支援教育就学奨励費補助	2校 7人	224,473円
学校名	教材名	数量	金額																										
芦別小学校	スタンド付き移動ボード	2台	103,248円																										
	理科実験用ミニコンロ	7台	49,555円																										
上芦別小学校	トライアングル TZR-15N	1個	1,584円																										
	トライアングル TZR-18N	1個	1,683円																										
区分	人員	金額																											
特別支援教育就学奨励費補助	2校 7人	224,473円																											

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令			
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	小学校の授業用教材・教具等の整備を図るなど、各学校における円滑な教育活動の推進と学校教育の振興を図る必要がある。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	行政改革推進委員会から、小さい頃から市内の商工業や農業に親しみが持てるよう、次代を担う子どもたちに市内企業や農業関係者による出前講座・出前授業を充実させ、将来の進路をイメージしやすいような教育環境の充実を図っていくべきとの提言を受けている。	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>			
今後も学習指導要領の改訂内容に基づく教育活動の充実を図るとともに、特別支援学級に在籍する児童へのきめ細かな対応を継続し、教育の振興を図っていく。なお、学校では、社会科や総合的な学習の時間において、地元企業の見学会や地元農家の協力による稲作、メロンづくり体験などに既に取り組んでいるが、上記の提言も踏まえながら、今後も郷土に愛着を持てるふるさと教育を充実していく。			総合判定  <b>継続</b>

款	10 教育費	項	2 小学校費	目	2 教育振興費																																																
事務事業名		小学校就学援助事業																																																			
決算額(円)		財源内訳(円)																																																			
4,400,983		国庫支出金	道支出金	市債	その他 一般財源																																																
					4,400,983																																																
事業目的		<p>経済的理由のため就学困難と認められる児童の保護者に対し、就学援助費を支給することにより、義務教育の円滑な実施に資することを目的とする。</p>																																																			
事業内容及び成果		<p>保護者から提出された「申請書」により、収入額等を調査し、就学援助該当者と認定した者に就学援助費を支給した。</p> <p>※ 支給種別(学用品・通学用品費、給食費等)と金額は、各学校や学年、実績等により異なる。</p> <p>【要保護、準要保護世帯に対する扶助の内容】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>人 数</th> <th>金 額</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校外活動費扶助</td> <td>10人</td> <td>7,779円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>学用品・通学用品費等扶助</td> <td>48人</td> <td>615,209円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>修学旅行費扶助</td> <td>11人</td> <td>274,691円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>新入学学用品費扶助</td> <td>16人</td> <td>606,600円</td> <td>平成29年度から新1年生は早期支給を実施</td> </tr> <tr> <td>体育実技用具費等扶助</td> <td>16人</td> <td>367,360円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>運動着購入費</td> <td>5人</td> <td>30,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>学校給食費扶助</td> <td>48人</td> <td>2,060,400円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>医療費扶助</td> <td>0人</td> <td>0円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P T A会費</td> <td>48人</td> <td>115,988円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>卒業アルバム代等</td> <td>11人</td> <td>114,120円</td> <td>平成31年度から実施</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>延 213人</td> <td>4,192,147円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				区 分	人 数	金 額	備 考	校外活動費扶助	10人	7,779円		学用品・通学用品費等扶助	48人	615,209円		修学旅行費扶助	11人	274,691円		新入学学用品費扶助	16人	606,600円	平成29年度から新1年生は早期支給を実施	体育実技用具費等扶助	16人	367,360円		運動着購入費	5人	30,000円		学校給食費扶助	48人	2,060,400円		医療費扶助	0人	0円		P T A会費	48人	115,988円		卒業アルバム代等	11人	114,120円	平成31年度から実施	合 計	延 213人	4,192,147円	
区 分	人 数	金 額	備 考																																																		
校外活動費扶助	10人	7,779円																																																			
学用品・通学用品費等扶助	48人	615,209円																																																			
修学旅行費扶助	11人	274,691円																																																			
新入学学用品費扶助	16人	606,600円	平成29年度から新1年生は早期支給を実施																																																		
体育実技用具費等扶助	16人	367,360円																																																			
運動着購入費	5人	30,000円																																																			
学校給食費扶助	48人	2,060,400円																																																			
医療費扶助	0人	0円																																																			
P T A会費	48人	115,988円																																																			
卒業アルバム代等	11人	114,120円	平成31年度から実施																																																		
合 計	延 213人	4,192,147円																																																			

次頁へ続く

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	学校教育法、芦別市就学援助費支給条例		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	経済的理由のため就学困難と認められる児童の保護者に対し、就学援助費を支給することにより、義務教育の円滑な実施を図る必要がある。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>		総合判定	
今後も国の制度に準拠しつつ、経済的理由により、就学や教育機会を奪われるようなことがないよう事業を継続していく。		<b>継 続</b>	

款	10 教育費	項	2 小学校費	目	2 教育振興費
事務事業名	小学校情報化教育推進事業				
決算額(円)	財源内訳(円)				
51,034,171	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					51,034,171
事業目的	平成23年度に導入した各小学校のパソコン教室設置機器が老朽化し、機能的にも現在の社会環境にあった授業を実施するには不足しているため、新機種への更新を実施し、ICT教育の充実を図る。				
事業内容及び成果	各小学校に校内LAN整備を行い、パソコン教室には、持ち運び可能なタブレット及び指導者用タブレット等を導入し、普通教室でも利用できるICT環境を整備して情報活用能力の育成を図った。				

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令				
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い		ICT教育の普及により、早期からコンピュータ教育の充実を図る必要がある。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した		—	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		議会から、教職員に対するコンピュータ研修会を実施するよう要望あり。	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
<今後の方向性>			総合判定	
<p>学習指導要領の改訂に伴い、ICT教育及びプログラミング教育の実施は必須となっていることから、ICT環境の効果的な整備と授業での活用を目指すほか、上記の要望も踏まえ、教員を対象としたコンピュータ等研修会を実施し、教員の習熟度の向上を図っていく。また、令和2年度にGIGAスクール構想により、全児童1人1台端末及び校内ネットワーク環境を整備していく。</p>				継続

款	10 教育費	項	3 中学校費	目	1 学校管理費																								
事務事業名	中学校管理業務																												
決算額(円)	財源内訳(円)																												
28,713,351	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																								
					28,713,351																								
事業目的	各中学校の適切な管理運営のため、教育環境の改善と充実を図る。																												
事業内容及び成果	<p>中学校の管理運営</p> <p>(1) 学校別施設修繕関係</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芦別中学校</td> <td>1,046,729円</td> </tr> <tr> <td>啓成中学校</td> <td>604,615円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,651,344円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 備品関係</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>備品名</th> <th>数量</th> <th>総事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>啓成中学校</td> <td>刈払機</td> <td>1台</td> <td>78,000円</td> </tr> <tr> <td>芦別中学校</td> <td>脚立</td> <td>1台</td> <td>29,808円</td> </tr> <tr> <td>啓成中学校</td> <td>スピーカー</td> <td>1台</td> <td>28,080円</td> </tr> </tbody> </table>					学校名	金額	芦別中学校	1,046,729円	啓成中学校	604,615円	合計	1,651,344円	学校名	備品名	数量	総事業費	啓成中学校	刈払機	1台	78,000円	芦別中学校	脚立	1台	29,808円	啓成中学校	スピーカー	1台	28,080円
学校名	金額																												
芦別中学校	1,046,729円																												
啓成中学校	604,615円																												
合計	1,651,344円																												
学校名	備品名	数量	総事業費																										
啓成中学校	刈払機	1台	78,000円																										
芦別中学校	脚立	1台	29,808円																										
啓成中学校	スピーカー	1台	28,080円																										

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	学校保健安全法、芦別市立学校設置条例、芦別市立学校管理規則		
1. 必要性 (市が実施しなければならぬ理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	生徒の教育環境の改善と充実を図るため、適切な管理が必要である。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	行政改革推進委員会から、人口減少が著しい中、将来に向けて中学校の統合を検討すべきとの提言を受けている。	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	電気料の特約割引等による削減効果額 318 千円/年
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>			
今後も適切な修繕等の対応を行い、安全・安心な学校施設の維持管理に努めていく。なお、上記の提言も踏まえ、芦別市立小中学校の配置基準の見直しを行い、検討を進めていく。			
総合判定			
継続			

款	10 教育費	項	3 中学校費	目	2 教育振興費																								
事務事業名	中学校教育振興事業																												
決算額(円)	財源内訳(円)																												
5,218,800	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																								
	573,000				4,645,800																								
事業目的	<p>1 中学校の授業用教材・教具等を整備することにより、効率的な教育の振興を図る。</p> <p>2 特別支援学級に在籍する生徒の状態を適切に把握し、きめ細かい支援を行うため、障がい種ごとの学級に在籍している生徒の人数に応じ、補助員を配置する。</p> <p>3 特別支援教育就学奨励費補助金の交付により、特別支援学級に就学している生徒の世帯の経済的負担の軽減を図る。</p> <p>4 遠距離通学に係る通学費を補助することにより、保護者負担の軽減を図る。</p>																												
事業内容及び成果	<p>1 授業用教材、教具等を効果的に整備した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>教材名</th> <th>数量</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芦別中学校</td> <td>双眼実体顕微鏡</td> <td>18台</td> <td>563,760円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">啓成中学校</td> <td>トーエーライト跳び箱8段中型</td> <td>1台</td> <td>138,240円</td> </tr> <tr> <td>双眼実体顕微鏡</td> <td>13台</td> <td>407,160円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 特別支援学級への補助(介助)員の配置状況 芦別中学校 1人</p> <p>3 特別支援教育就学奨励費補助金の交付により、該当世帯の経済的負担の軽減を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人員</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特別支援教育就学奨励費補助</td> <td>2校 4人</td> <td>176,622円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>延 4人</td> <td>176,622円</td> </tr> </tbody> </table>					学校名	教材名	数量	金額	芦別中学校	双眼実体顕微鏡	18台	563,760円	啓成中学校	トーエーライト跳び箱8段中型	1台	138,240円	双眼実体顕微鏡	13台	407,160円	区分	人員	金額	特別支援教育就学奨励費補助	2校 4人	176,622円	合計	延 4人	176,622円
学校名	教材名	数量	金額																										
芦別中学校	双眼実体顕微鏡	18台	563,760円																										
啓成中学校	トーエーライト跳び箱8段中型	1台	138,240円																										
	双眼実体顕微鏡	13台	407,160円																										
区分	人員	金額																											
特別支援教育就学奨励費補助	2校 4人	176,622円																											
合計	延 4人	176,622円																											

次頁へ続く

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令			
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	中学校の授業用教材・教具等の整備を図るなど、各学校における円滑な教育活動の推進と学校教育の振興を図る必要がある。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	行政改革推進委員会から、小さい頃から市内の商工業や農業に親しみが持てるよう、次代を担う子どもたちに市内企業や農業関係者による出前講座・出前授業を充実させ、将来の進路をイメージしやすいような教育環境の充実を図っていくべきとの提言を受けている。また、小学校3、4年生で活用している社会科副読本について、中高生になっても子どもたちの地域愛を育むことができるよう、中高生向けの副読本的な教材の作成を検討すべきとの提言を受けている。	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>		総合判定	
今後も学習指導要領の改訂内容に基づく教育活動の充実を図るとともに、特別支援学級に在籍する生徒へのきめ細かな対応を継続し、教育の振興を図っていく。なお、学校では、既にキャリア教育の一環として地元企業の協力による職場体験を実施しているが、今後も地元企業への就職や農業経営などの進路への意欲を育む教育活動の充実を図っていく。また、令和4年度に小学校の副読本の改訂を予定していることから、小学校3、4年生に限らず、他の学年でも活用が可能となるような内容が可能なかの検討を進めていく。高校生向けの副読本については、その必要性を芦別高校と協議を進めていく。		<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">継 続</p>	



款	10 教育費	項	3 中学校費	目	2 教育振興費																																																				
事務事業名	中学校就学援助事業																																																								
決算額(円)	財源内訳(円)																																																								
5,471,967	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																																																				
					5,471,967																																																				
事業目的	<p>経済的理由のため就学困難と認められる生徒の保護者に対し、就学援助費を支給することにより、義務教育の円滑な実施に資することを目的とする。</p>																																																								
事業内容及び成果	<p>保護者から提出された「申請書」により、収入額等を調査し、就学援助該当者と認定した者に就学援助費を支給した。</p> <p>※ 支給種別(学用品・通学用品費、給食費等)と金額は、各学校や学年、実績等により異なる。</p> <p>【要保護、準要保護世帯に対する扶助の内容】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人数</th> <th>金額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校外活動費扶助</td> <td>24人</td> <td>93,019円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>学用品・通学用品費等扶助</td> <td>39人</td> <td>937,120円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>修学旅行費扶助</td> <td>12人</td> <td>892,415円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>新入学学用品費扶助</td> <td>24人</td> <td>951,000円</td> <td>平成29年度から新1年生は早期支給を実施</td> </tr> <tr> <td>体育実技用具費等扶助</td> <td>2人</td> <td>39,850円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>学校給食費扶助</td> <td>39人</td> <td>2,020,212円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>医療費扶助</td> <td>1人</td> <td>6,621円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クラブ活動費</td> <td>26人</td> <td>288,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生徒会費</td> <td>39人</td> <td>58,330円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P T A会費</td> <td>36人</td> <td>93,700円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>卒業アルバム代等</td> <td>11人</td> <td>91,700円</td> <td>平成31年度から実施</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>延 253人</td> <td>5,471,967円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					区分	人数	金額	備考	校外活動費扶助	24人	93,019円		学用品・通学用品費等扶助	39人	937,120円		修学旅行費扶助	12人	892,415円		新入学学用品費扶助	24人	951,000円	平成29年度から新1年生は早期支給を実施	体育実技用具費等扶助	2人	39,850円		学校給食費扶助	39人	2,020,212円		医療費扶助	1人	6,621円		クラブ活動費	26人	288,000円		生徒会費	39人	58,330円		P T A会費	36人	93,700円		卒業アルバム代等	11人	91,700円	平成31年度から実施	合計	延 253人	5,471,967円	
区分	人数	金額	備考																																																						
校外活動費扶助	24人	93,019円																																																							
学用品・通学用品費等扶助	39人	937,120円																																																							
修学旅行費扶助	12人	892,415円																																																							
新入学学用品費扶助	24人	951,000円	平成29年度から新1年生は早期支給を実施																																																						
体育実技用具費等扶助	2人	39,850円																																																							
学校給食費扶助	39人	2,020,212円																																																							
医療費扶助	1人	6,621円																																																							
クラブ活動費	26人	288,000円																																																							
生徒会費	39人	58,330円																																																							
P T A会費	36人	93,700円																																																							
卒業アルバム代等	11人	91,700円	平成31年度から実施																																																						
合計	延 253人	5,471,967円																																																							

次頁へ続く

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	学校教育法、芦別市就学援助費支給条例		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	経済的理由のため就学困難と認められる生徒の保護者に対し、就学援助費を支給することにより、義務教育の円滑な実施を図る必要がある。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>		総合判定	
今後も国の制度に準拠しつつ、経済的理由により、就学や教育機会を奪われるようなことがないよう事業を継続していく。		<b>継 続</b>	

款	10 教育費	項	3 中学校費	目	2 教育振興費
事務事業名	中学校情報化教育推進事業				
決算額(円)	財源内訳(円)				
3,201,966	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					3,201,966
事業目的	情報化社会に対応するため、技術的、内容的により進歩したICT教育の充実を図るとともに、自主的な学習活動に資する。				
事業内容及び成果	各中学校に学習用パソコンを配置し、各教科等において、パソコンの活用を通じて情報活用能力の育成を図った。				

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令				
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い		ICT教育の普及により、早期からコンピュータ教育の充実を図る必要がある。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した		—	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		議会から、教職員に対するコンピュータ研修会を実施するよう要望あり。	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
<今後の方向性>				総合判定
学習指導要領の改訂に伴い、ICT教育及びプログラミング教育の実施は必須となっていることから、ICT環境の効果的な整備と授業での活用を目指すほか、上記の要望も踏まえ、教員を対象としたコンピュータ等研修会を実施し、教員の習熟度の向上を図っていく。また、令和2年度にGIGAスクール構想により、全生徒1人1台端末及び校内ネットワーク環境を整備していく。				継続

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	1 社会教育総務費																																								
事務事業名		社会教育委員活動事務																																											
決算額(円)		財源内訳(円)																																											
174,530		国庫支出金	道支出金	市債	その他 一般財源																																								
					174,530																																								
事業目的		社会教育行政の推進を図ることを目的とする。																																											
事業内容及び成果		<p>社会教育委員会議を開催し、社会教育推進計画案等について協議を行ったほか、各種研修会等への参加を通して、社会教育委員としての資質向上に努めた。</p> <p>(1) 社会教育委員会議の開催</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>期日</th> <th>場所</th> <th>内容</th> <th>出席者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>6月27日(木)</td> <td>市民会館</td> <td>平成30年度事業報告について 第3次芦別市生涯学習推進計画策定方針について 第2次芦別市男女共同参画推進計画策定方針について</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>1月16日(木)</td> <td>市民会館</td> <td>第3次芦別市生涯学習推進計画の素案について 第2次芦別市男女共同参画推進計画の素案について</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>書面会議</td> <td>—</td> <td>令和元年度芦別市社会教育委員活動状況について 第3次芦別市生涯学習推進計画(案)について 第2次芦別市男女共同参画推進計画(案)について 令和2年度芦別市社会教育推進計画(案)について</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 各種研修会等への参加</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>期日</th> <th>場所</th> <th>本市からの出席者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空知管内社会教育委員研究協議会総会</td> <td>4月23日(火)</td> <td>歌志内市</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>空知管内社会教育委員研究協議会</td> <td>8月23日(金)</td> <td>赤平市</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>北海道社会教育研究大会(十勝大会)兼全国社会教育委員連合北海道ブロック大会</td> <td>10月10日(木) ～11日(金)</td> <td>帯広市</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>空知管内社会教育委員長等研修会</td> <td>12月3日(火)</td> <td>岩見沢市</td> <td>2人</td> </tr> </tbody> </table>					期日	場所	内容	出席者数	第1回	6月27日(木)	市民会館	平成30年度事業報告について 第3次芦別市生涯学習推進計画策定方針について 第2次芦別市男女共同参画推進計画策定方針について	9人	第2回	1月16日(木)	市民会館	第3次芦別市生涯学習推進計画の素案について 第2次芦別市男女共同参画推進計画の素案について	9人	第3回	書面会議	—	令和元年度芦別市社会教育委員活動状況について 第3次芦別市生涯学習推進計画(案)について 第2次芦別市男女共同参画推進計画(案)について 令和2年度芦別市社会教育推進計画(案)について	—	名称	期日	場所	本市からの出席者数	空知管内社会教育委員研究協議会総会	4月23日(火)	歌志内市	1人	空知管内社会教育委員研究協議会	8月23日(金)	赤平市	1人	北海道社会教育研究大会(十勝大会)兼全国社会教育委員連合北海道ブロック大会	10月10日(木) ～11日(金)	帯広市	1人	空知管内社会教育委員長等研修会	12月3日(火)	岩見沢市	2人
	期日	場所	内容	出席者数																																									
第1回	6月27日(木)	市民会館	平成30年度事業報告について 第3次芦別市生涯学習推進計画策定方針について 第2次芦別市男女共同参画推進計画策定方針について	9人																																									
第2回	1月16日(木)	市民会館	第3次芦別市生涯学習推進計画の素案について 第2次芦別市男女共同参画推進計画の素案について	9人																																									
第3回	書面会議	—	令和元年度芦別市社会教育委員活動状況について 第3次芦別市生涯学習推進計画(案)について 第2次芦別市男女共同参画推進計画(案)について 令和2年度芦別市社会教育推進計画(案)について	—																																									
名称	期日	場所	本市からの出席者数																																										
空知管内社会教育委員研究協議会総会	4月23日(火)	歌志内市	1人																																										
空知管内社会教育委員研究協議会	8月23日(金)	赤平市	1人																																										
北海道社会教育研究大会(十勝大会)兼全国社会教育委員連合北海道ブロック大会	10月10日(木) ～11日(金)	帯広市	1人																																										
空知管内社会教育委員長等研修会	12月3日(火)	岩見沢市	2人																																										

次頁へ続く

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	社会教育法、芦別市社会教育委員条例		
1. 必要性 (市が実施しなければならぬ理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	社会教育委員は、法及び芦別市社会教育委員条例に基づき設置されており、本市の社会教育、生涯学習を推進するうえで必要である。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	社会教育に関し、教育委員会に助言する職務を担い、行政と市民を結ぶパイプ的な役割を果たしており、各種事業の計画や実績に対し助言することにより、事業の改善や向上が図られている。	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>		総合判定	
今後も社会教育委員活動を充実させ、社会教育事業の推進を図っていく。		<b>継 続</b>	

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	2 社会教育振興費
事務事業名	各種講座・教室等実施事業				
決算額(円)	財源内訳(円)				
78,529	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					78,529
事業目的	市民の多様化する学習ニーズに応え、生涯学習の観点を踏まえながら、各年齢層を対象とした講座・教室等を開催し、市民の自発的・自主的な学習活動を支援することを目的とする。				
事業内容及び成果	各年齢層を対象とした講座・教室等を開催し、市民の自発的・自主的な学習活動を支援する学習機会を提供した。				
	教室、講座等の開設				
	区分	開設場所	開催日及び開催日数	参加人員	
	生涯学習まちづくり出前講座	市内一円	46回	延1,196人	
	レッツ・チャレンジ ① エアボールゲームであそぼっ！ ② ジンジャーブレッドクッキーをつくっちゃお！ ③ マガジンクリスマスツリーを作ろう！ ④ 手打ちうどんでカレーうどん！	児童センター	6月22日(土) ～12月21日(土) 4回	延 37人	
	市民講座 森林療法講座	旭ヶ丘公園	5月 9日(木) ～ 7月 4日(木) 3回	延 55人	

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	教育基本法、社会教育法		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	生涯学習・社会教育の推進の観点から、市が実施する必要がある。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	各年齢層を対象とした講座や教室等を実施することにより、市民の自発的・自主的な学習活動を支援することができ、市民の学びの機会の充実に寄与している。	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>		総合判定	
市民ニーズが高い講座の継続及び創出を図り、今後も生涯学習を推進していく。		継続	

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	2 社会教育振興費
事務事業名	各種大学等実施事業				
決算額(円)	財源内訳(円)				
111,018	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					111,018
事業目的	市民の多様化する学習ニーズに応え、生涯学習の観点を踏まえながら、ライフステージに応じた大学を設置し、市民の自発的・自主的な学習活動を支援することを目的とする。				
事業内容及び成果	各大学に応じた一般教養、創作活動やスポーツ体験等の講座・教室等を開催し、市民の自発的・自主的な学習活動を支援する学習機会を提供した。(月2回開設) 教室、講座等の開設				
	区分	開設場所	開催日及び開催日数		参加人員
	高齢者大学	市民会館ほか	4月24日(水)～2月19日(水) 24回		延 983人
	女性大学	#	5月10日(金)～2月21日(金) 18回		延 583人

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	教育基本法、社会教育法		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	社会教育や生涯学習の機会を望む高齢者や女性が多い現状から、実施する必要がある。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	各大学を実施することにより、市民の自発的・自主的な学習活動を支援することができ、市民の学びの機会の充実に寄与している。	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>		総合判定	
今後も自主的な学習活動を支援できるよう、多様な学習機会を提供していく。		継続	

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	2 社会教育振興費				
事務事業名	一般社会教育事務								
決算額(円)	財源内訳(円)								
162,514	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源				
					162,514				
事業目的	各種社会教育事業の推進を図ることを目的とする。								
事業内容及び成果	<p>社会教育に関する研修会等への参加による資質向上や推進計画に基づいた企画運営により、各種社会教育事業の推進を図った。</p> <p>推進計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>計画名</th> <th>計画期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第2次芦別市生涯学習推進計画</td> <td>平成22年度～令和元年度</td> </tr> </tbody> </table>					計画名	計画期間	第2次芦別市生涯学習推進計画	平成22年度～令和元年度
計画名	計画期間								
第2次芦別市生涯学習推進計画	平成22年度～令和元年度								

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	教育基本法、社会教育法		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	生涯学習推進計画に基づき、各種社会教育団体と協力・連携し、社会教育事業を実施する必要がある。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	社会教育に関する研修会等への参加による職員の資質向上を図ることにより、社会教育事業の創意・工夫につながり、市民の学びの機会の充実に寄与している。	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>			総合判定
今後も社会教育に関する研修会等への参加による資質向上を図るなど、各種社会教育事業を推進していく。			継続



款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	2 社会教育振興費																												
事務事業名	成人式実施事業																																
決算額(円)	財源内訳(円)																																
71,457	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																												
					71,457																												
事業目的	新しい時代に向かって夢と希望を抱き、成人となる者の門出を祝うことを目的とする。																																
事業内容及び成果	<p>式典及び交流会を実施した。</p> <p>成人式行事</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内容等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催期日</td> <td>令和2年1月12日(日)</td> </tr> <tr> <td>成人該当者数</td> <td>男 73人 女 67人 合計 140人</td> </tr> <tr> <td>出席者数</td> <td>男 47人 女 47人 合計 94人</td> </tr> <tr> <td>出席率</td> <td>67.1%</td> </tr> <tr> <td>記念品(成人該当者)</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>成人式典</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>開催時間</td> <td>午後1時～午後1時30分</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>市民会館大ホール</td> </tr> <tr> <td>主な内容</td> <td>式典</td> </tr> <tr> <td>実施主体</td> <td>芦別市教育委員会</td> </tr> </tbody> </table> <p>ふれあい広場</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>開催時間</td> <td>午後1時30分～午後3時</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>青年センター体育館</td> </tr> <tr> <td>主な内容</td> <td>新成人歓談の時間</td> </tr> <tr> <td>実施主体</td> <td>芦別市教育委員会</td> </tr> </tbody> </table>					区分	内容等	開催期日	令和2年1月12日(日)	成人該当者数	男 73人 女 67人 合計 140人	出席者数	男 47人 女 47人 合計 94人	出席率	67.1%	記念品(成人該当者)	なし	開催時間	午後1時～午後1時30分	開催場所	市民会館大ホール	主な内容	式典	実施主体	芦別市教育委員会	開催時間	午後1時30分～午後3時	開催場所	青年センター体育館	主な内容	新成人歓談の時間	実施主体	芦別市教育委員会
区分	内容等																																
開催期日	令和2年1月12日(日)																																
成人該当者数	男 73人 女 67人 合計 140人																																
出席者数	男 47人 女 47人 合計 94人																																
出席率	67.1%																																
記念品(成人該当者)	なし																																
開催時間	午後1時～午後1時30分																																
開催場所	市民会館大ホール																																
主な内容	式典																																
実施主体	芦別市教育委員会																																
開催時間	午後1時30分～午後3時																																
開催場所	青年センター体育館																																
主な内容	新成人歓談の時間																																
実施主体	芦別市教育委員会																																

次頁へ続く

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令			
1. 必要性 (市が実施しなければならぬ理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い		新成人の新たな門出を市全体でお祝いする場が必要である。
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した		新成人の新たな門出をお祝いすることができ、成人としての自覚や決意を促すことができた。
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		—
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>			総合判定
今後も参加者のニーズを把握し、事業内容の充実を図っていく。			<b>継 続</b>

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	2 社会教育振興費																
事務事業名	家庭教育事業																				
決算額(円)	財源内訳(円)																				
126,789	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																
					126,789																
事業目的	家庭の教育力向上を目指した親子参加型の体験教室等の実施、各種関係団体への補助をし、家庭教育に関する学習機会の充実を図る。																				
事業内容及び成果	<p>実施事業</p> <p>(1) 幼児、小学生低学年とその親を対象とした、「親子体験教室」を実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業内容</th> <th>会場</th> <th>開催日</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エゾ鹿肉を使った餃子作り</td> <td>総合福祉センター</td> <td>11月16日(土)</td> <td>子ども 7人 保護者 5人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 小学生高学年を対象とした、「あしべつ通学合宿」を実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業内容</th> <th>会場</th> <th>開催日</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①生活体験 ②学習活動 ③体験活動 ④朝食・夕食作り 等</td> <td>宿泊交流センター</td> <td>9月9日(月)～ 9月13日(金) 【4泊5日】</td> <td>12人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 芦別市PTA連合会活動に対する交付金 86,922円</p>					事業内容	会場	開催日	参加人数	エゾ鹿肉を使った餃子作り	総合福祉センター	11月16日(土)	子ども 7人 保護者 5人	事業内容	会場	開催日	参加人数	①生活体験 ②学習活動 ③体験活動 ④朝食・夕食作り 等	宿泊交流センター	9月9日(月)～ 9月13日(金) 【4泊5日】	12人
事業内容	会場	開催日	参加人数																		
エゾ鹿肉を使った餃子作り	総合福祉センター	11月16日(土)	子ども 7人 保護者 5人																		
事業内容	会場	開催日	参加人数																		
①生活体験 ②学習活動 ③体験活動 ④朝食・夕食作り 等	宿泊交流センター	9月9日(月)～ 9月13日(金) 【4泊5日】	12人																		

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	教育基本法、社会教育法		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	家庭教育の支援は、家庭だけではなく、学校・地域・行政が連携して取り組む必要がある。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	地産地消をテーマとした親子体験教室を実施することにより、食育にもつながり、通学合宿を実施することにより、生活習慣の改善につながるなど、家庭教育の充実に寄与することができた。	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	芦別市PTA連合会から、安定的な事業運営のため、交付金の安定的交付と家庭教育の課題解決に向けた保護者教育の充実についての要望あり。また、行政改革推進委員会から、親子体験教室及び通学合宿において、教育の一環として全員が参加する中で、事業展開を進めていくべきとの提言を受けている。	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—

<今後の方向性>	総合判定
今後も学校・地域・青少年育成連絡協議会と連携し、家庭教育の充実や向上を図っていく。なお、上記の要望を踏まえ、PTA連合会活動に対する交付金を安定的に交付していく。また、上記の提言に対しては、全員参加となれば、社会教育のみならず学校教育の分野となるため、引き続き事業を継続しながらも、関係者との協議を進めていく。	<b>継 続</b>

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	2 社会教育振興費																														
事務事業名	異文化活動事務																																		
決算額(円)	財源内訳(円)																																		
0	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																														
事業目的	国際交流員を講師とした英会話講座等を実施し、英語能力の向上と異文化交流を行うことを目的とする。																																		
事業内容及び成果	<p>実施事業</p> <p>(1) 2期に分けて講座参加者の募集を行い、英会話講座を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期別</th> <th>主な内容</th> <th>実施回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">前期 (5月～9月)</td> <td>親子英会話講座</td> <td>13回</td> <td>52人</td> </tr> <tr> <td>英会話初級コース</td> <td>12回</td> <td>132人</td> </tr> <tr> <td>英会話応用コース</td> <td>12回</td> <td>60人</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">後期 (12月～2月)</td> <td>親子英会話講座</td> <td>11回</td> <td>66人</td> </tr> <tr> <td>英会話初級コース</td> <td>9回</td> <td>72人</td> </tr> <tr> <td>英会話応用コース</td> <td>9回</td> <td>63人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 留守家庭児童会に通う児童を対象とした、楽しみながら英語を学ぶ目的として実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>5月～2月 (毎月1～2回)</th> <th>実施回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>20回</td> <td>493人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 市内学校のALT業務 21回</p>					期別	主な内容	実施回数	参加人数	前期 (5月～9月)	親子英会話講座	13回	52人	英会話初級コース	12回	132人	英会話応用コース	12回	60人	後期 (12月～2月)	親子英会話講座	11回	66人	英会話初級コース	9回	72人	英会話応用コース	9回	63人	5月～2月 (毎月1～2回)	実施回数	参加人数		20回	493人
期別	主な内容	実施回数	参加人数																																
前期 (5月～9月)	親子英会話講座	13回	52人																																
	英会話初級コース	12回	132人																																
	英会話応用コース	12回	60人																																
後期 (12月～2月)	親子英会話講座	11回	66人																																
	英会話初級コース	9回	72人																																
	英会話応用コース	9回	63人																																
5月～2月 (毎月1～2回)	実施回数	参加人数																																	
	20回	493人																																	

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	教育基本法、社会教育法		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	市民の基礎的な英語能力の向上、異文化交流などの学習機会の提供をするため、市が主体となって推進する必要がある。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	音楽やゲームなどを取り入れ、楽しみながら英語に触れる工夫をするなど、市民の英語能力の向上や異文化交流の推進に寄与している。	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>		総合判定	
今後も市民のニーズに対応するため、英会話講座・語学指導教室等の実施内容の充実を図っていく。		継続	

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	2 社会教育振興費
事務事業名	学習活動情報提供事務				
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)				
0	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
事業目的	市民の自発的・自主的な生涯学習活動を支援することを目的とする。				
事業内容及び成果	ホームページ等を活用し、生涯学習活動に関する情報提供を行った。				

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	芦別市マナビリーダーバンク条例				
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	市民の自発的・自主的な学習活動の支援のために必要である。			
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—			
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—			
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
<今後の方向性>					総合判定
今後も市民の学習・体験ニーズに応えるため、ホームページ等を活用し、講座やサークルの活動状況などの情報提供を行っていく。					<b>継 続</b>

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	2 社会教育振興費
事務事業名	男女共同参画推進業務				
決算額(円)	財源内訳(円)				
0	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
事業目的	男女共同参画社会の形成を図ることを目的とする。				
事業内容及び成果	芦別市男女共同参画推進協議会に対する側面的支援を行った。 推進計画				
	計画名	計画期間			
	芦別市男女共同参画推進計画	平成22年度～令和元年度			

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	男女共同参画社会基本法				
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	男女共同参画推進計画に基づき、男女共同参画社会の実現を図ることが必要である。			
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—			
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—			
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
<今後の方向性>					総合判定
今後も男女共同参画社会の形成を図るため、芦別市男女共同参画推進協議会に対する側面的支援を行っていく。					継続

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	3 青少年育成費
事務事業名		青少年育成事業			
決算額(円)		財源内訳(円)			
1,655,240		国庫支出金	道支出金	市債	その他 一般財源
					828,000 827,240
事業目的					
青少年の健全育成に資する活動に対し、支援協力するとともに、青少年健全育成につながるリーダーの育成や指導者養成等を目的とする。					
事業内容及び成果					
1 各種青少年健全育成事業を実施した。					
2 青少年育成団体等の活動を促進するため、交付金、補助金を交付した。					
3 青少年の交流・社会参加事業等実施状況					
事業名		実施期日	場所	参加人数等	
全市一斉親子クリーン作戦		5月12日(日)ほか	市内一円	1,672人	
青少年健全育成市民の集い		2月2日(日)	市民会館ほか	222人	
「青少年の日」作文・標語募集・表彰		募集期間 7月～9月 表彰 2月2日(日)	小・中・高・専	作文	22点
青少年の顕彰		2月2日(日)	市民会館	標語	56点
各種展示報告ほか		2月2日(日)	市民会館	個人:6人 団体:2組	
雪中運動会		1月25日(土)	上芦別小学校	4校、体験報告事業 シャーロットタウン市派遣事業	
青少年育成連絡協議会補助		年間	6連合会	会員	831人
4 青少年健全育成事業実施状況					
事業名		実施期間	場所	参加人数	
テレホン相談事業		年間	青年センター	相談件数	0件
「子どもたちの悩み」発行		年1回	学校・関係者	各小・中・高・専門学校	
あいさつ運動の推進		年間	市内一円	市広報紙による啓発	
5 青少年団体リーダー及び育成指導者養成事業の実施状況					
事業名		実施期日	場所	参加人数	
子ども会リーダー養成講習会(講習・宿泊)		7月31日(水)～8月2日(金)	国立大雪青少年交流の家	小学生17人 指導者5人、外国人青年1人	
青少年の体験活動推進事業		8月11日(日)～13日(火)	北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル砂川	3人	
子ども会指導者養成講習会(前期)		9月26日(木)	総合体育館	19人	
子ども会指導者養成講習会(後期)		12月17日(火)	青年センター	12人	
6 実施状況					
事業名		件数	交付金総額		
青少年健全育成基金活用事業		17件	828,000円		

次頁へ続く

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令		芦別市青少年健全育成事業補助金交付条例	
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	行政が活動に対する支援や協力、青少年リーダーの育成、指導者の養成等を行う必要がある。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	次代を担う青少年に対し、ボランティア活動や体験事業等の健全育成事業を実施することにより、社会性や協調性などを学ぶ貴重な機会となっている。また、青少年の顕彰等を行うことにより、文化・スポーツ等の取組に対する励みとなっている。	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	行政改革推進委員会から、参加者の減少等に伴う全市一斉親子クリーン作戦、市民の集い、リーダー養成講習会等の事業の見直しについて提言がなされている。	
4. 行財政改革（改善・改革等）の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>			総合判定
今後も青少年の健全育成を目指し、事業を継続して実施していく。なお、上記の提言を踏まえ、青少年育成連絡協議会と協議しながら、参加者の増加を含めた事業の見直しを進めていくこととする。			<b>継 続</b>



款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	3 青少年育成費																								
事務事業名	青少年非行防止活動業務																												
決算額(円)	財源内訳(円)																												
640,607	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																								
					640,607																								
事業目的	青少年の非行防止活動を効果的かつ総合的に推進する。																												
事業内容及び成果	<p>青少年センターを設置し、関係機関・団体との連携を密にし、協力しながら各種補導業務、環境浄化活動等に当たった。</p> <p>活動状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>主な内容</th> <th>回数等</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">補導員パトロールの実施</td> <td>地域パトロール</td> <td>市内</td> <td>随時</td> </tr> <tr> <td>祭典特別パトロール</td> <td>4回</td> <td>119人</td> </tr> <tr> <td>非行防止特別パトロール</td> <td>67日</td> <td>113人</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">有害環境浄化活動の実施</td> <td>有害図書等立入調査</td> <td>7月19日(金)</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>環境浄化モニター一部会</td> <td>7月19日(金)</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>電話ボックス等巡回調査</td> <td>市内一円</td> <td>随時</td> </tr> </tbody> </table>					事業名	主な内容	回数等	人数	補導員パトロールの実施	地域パトロール	市内	随時	祭典特別パトロール	4回	119人	非行防止特別パトロール	67日	113人	有害環境浄化活動の実施	有害図書等立入調査	7月19日(金)	13人	環境浄化モニター一部会	7月19日(金)	13人	電話ボックス等巡回調査	市内一円	随時
事業名	主な内容	回数等	人数																										
補導員パトロールの実施	地域パトロール	市内	随時																										
	祭典特別パトロール	4回	119人																										
	非行防止特別パトロール	67日	113人																										
有害環境浄化活動の実施	有害図書等立入調査	7月19日(金)	13人																										
	環境浄化モニター一部会	7月19日(金)	13人																										
	電話ボックス等巡回調査	市内一円	随時																										

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	芦別市青少年センター規則		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	青少年センターの専門員や補導員が連携し、街頭補導活動等により、青少年が犯罪等に巻き込まれる事態を未然に防ぐ必要がある。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	専門員・補導員が街頭補導活動等を実施することにより、青少年の非行防止及び青少年の健全育成につながり、市民の安心安全に寄与している。	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	行政改革推進委員会から、補導員のパトロールや有害環境浄化活動の実施については、子どもたちの非行防止の観点からも重要な事業であるため、経費をかけてでも実施すべき事業であるとの提言がなされている。また、一部の町内会から、高齢化により、推薦が難しくなってきたとの意見がある。	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>			
上記の提言及び意見を踏まえ、各町内会の事情を考慮しつつ、今後も芦別市青少年センターの活動を継続し、非行防止活動に努めていく。			総合判定 <b>継続</b>

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	3 青少年育成費
事務事業名	青少年安全対策事務				
決算額(円)	財源内訳(円)				
0	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
事業目的	不審者による事件・事故を未然に防止することを目的とする。				
事業内容及び成果	青少年の安全を確保するため、「子ども110番緊急避難所」を設置した。また、犯罪等を抑止するため、青色回転灯装着公用車による巡回パトロールを実施した。				

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令				
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	「子ども110番緊急避難所」の設置個所の拡大に努め、駆け込み訓練の実施など市と市民が一体となって子どもの安全を守ることが必要である。		
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	不審者による事件・事故を未然に防止するための小学校・保育園での駆け込み訓練の実施及び青色回転灯装着公用車による巡回パトロールの実施により、青少年の安全安心な地域環境の整備に寄与している。		
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	行政改革推進委員会から、青少年安全対策事務に係る子ども110番緊急避難所事業や巡回パトロール事業等の地道な活動についても、今後も継続すべきであるとの提言がなされている。		
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
<今後の方向性>				総合判定
今後も緊急避難所の拡大を図り、不審者が出没にした際に、メール等により専門員・補導員へ迅速に情報提供を行うとともに、青色回転灯装着公用車による巡回パトロール等を実施し、上記の提言も踏まえ、継続して青少年の安全対策に努めていく。				<b>継 続</b>

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	4 文化振興費
事務事業名	芸術・文化活動業務				
決算額(円)	財源内訳(円)				
945,436	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					945,436
事業目的	地域に根ざした芸術文化を支援するとともに、市民が文化的活動に触れる機会や体験する機会を提供し、地域の芸術文化活動の活性化を図ることを目的とする。				
事業内容及び成果	市民が芸術文化に親しめるよう、芸術家・芸術文化団体の作品の展示場所や発表できる機会を提供するとともに、広く市民に知ってもらうよう周知した。				
	(1) 実施状況				
	事業名	交付先	内 容	交付金額	
	芦別市文化連盟 活動事業  (期間 令和元年度)	芦別市文化連盟	① 本市文化の推進及び文化団体相互の連携強化を図るための各種事業を開催 表彰授賞式 11月3日(日・文化の日) 功労賞3人、奨励賞2人 ② 各種展示発表、文芸講演・研修	322,440円	
	(2) 星の降る里ウインズバンドプロジェクトに対する補助 ポップスコンクール等開催事業 575,046円				

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令			
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い		市民の活発な芸術文化活動を促すため必要な事業である。
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した		文化団体等を支援することにより、市民が文化活動に触れる機会や体験する機会の充実につながり、文化の向上に寄与している。
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		—
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>			総合判定
今後も市民が芸術文化に触れる機会を提供するとともに、親しめる環境の整備などを行う。			継続

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	4 文化振興費
事務事業名	芸術文化交流館管理運営業務				
決算額(円)	財源内訳(円)				
1,461,855	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
				797	1,461,058
事業目的	芸術文化活動の発表・交流の場を提供するため、芸術文化交流館の適切な管理運営を行う。				
事業内容及び成果	市民が気軽に芸術文化活動に参加できるように、既存施設の有効活用に努めた。 来館状況				
	区分	年間来館者数	開館日数		
	市内	1,014人	163日		
	市外	386人			
	道外	46人			
	計	1,446人(団体5件・238人含む)			

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	芦別市芸術文化交流館条例		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	本市の芸術文化を道内外に発信する拠点施設であり、市が関与して、芸術文化交流館を管理・運営する必要がある。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	道内外で活躍する芸術家の創作活動及び作品展示の場や、地域や来館者との交流の場となっており、文化の向上が図られている。	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	行政改革推進委員会から、芸術文化交流館は、建築後50年以上経過しており、施設の存続が困難となった場合には、他の施設との統合も検討すべきであるとの提言がなされている。	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	上記の提言を踏まえ、当面は現施設の活用を継続していくが、施設の維持管理や運営について指定管理者と話し合いを設けながら、施設のあり方を検討していく。
<今後の方向性>		総合判定	
今後もPR活動を行い来館者の増加を図りながら、芸術家及び市民が利用しやすい芸術文化活動振興の拠点施設を目指し、指定管理者による効果的な管理運営に努める。		<b>継続</b>	

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	5 体育振興費
事務事業名	スポーツ推進委員事務				
決算額(円)	財源内訳(円)				
212,003	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					212,003
事業目的	スポーツに関する各種団体の育成や市民への実技指導などを行い、スポーツの振興を図ることを目的とする。				
事業内容及び成果	市民の求めに応じて、スポーツの実技指導や市主催スポーツ行事・事業等の協力を行い、市民に対しスポーツ推進の啓発を行った。 スポーツ推進委員 10人				

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	スポーツ基本法、芦別市スポーツ推進委員に関する規則				
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	スポーツの振興を図るため必要な事業である。			
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	定数11人のところ9人体制であったが、平成31年4月に一名増員となり、ウエイトトレーニング教室を新規開催するなどスポーツ推進活動が充実した。			
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—			
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
<今後の方向性>					総合判定
今後も市民のスポーツ活動の促進を図るほか、各種スポーツ事業の振興を図っていく。					継続

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	5 体育振興費																																																																															
事務事業名	スポーツ教室開設事業																																																																																			
決算額(円)	財源内訳(円)																																																																																			
262,478	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源 262,478																																																																															
事業目的	市民に対しスポーツを行う機会を提供することで、スポーツの普及、スポーツ技術の向上、健康増進を図る。																																																																																			
事業内容及び成果	<p>年齢に合わせた各種スポーツ教室を開催した。</p> <p>スポーツ教室開設状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教室名</th> <th>教室日</th> <th>会場</th> <th>参加人数</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="5">親子スポーツ教室</td> </tr> <tr> <td>親子スキー教室</td> <td>1月25日(土) 2月8日(土)</td> <td>国設スキー場</td> <td>延 18人</td> <td>親子でスキーの体験</td> </tr> <tr> <td colspan="5">子どもスポーツ教室</td> </tr> <tr> <td>子どもスキー教室</td> <td>1月11日(土) 1月12日(日)</td> <td>国設スキー場</td> <td>延 58人</td> <td>基礎指導</td> </tr> <tr> <td colspan="5">成人スポーツ教室</td> </tr> <tr> <td>ノルディック ウォーキング教室</td> <td>6月11日(火) ～7月23日(火)</td> <td>なまこ山総合運動公園</td> <td>延 104人</td> <td>ウォーキング指導 ノルディックウォーキング指導</td> </tr> <tr> <td>スロージョギング&amp; ノルディックウォーキング教室</td> <td>11月14日(木) ～1月30日(木)</td> <td>総合体育館</td> <td>延 236人</td> <td>スロージョギング指導 ウォーキング指導 ノルディックウォーキング指導</td> </tr> <tr> <td>ストレッチ教室 (昼の部)</td> <td>9月10日(火) ～10月8日(火)</td> <td>総合体育館</td> <td>延 73人</td> <td>疲れや体のこりを解消するためのストレッチ教室</td> </tr> <tr> <td>ストレッチ教室 (夜の部)</td> <td>9月11日(水) ～10月9日(水)</td> <td>総合体育館</td> <td>延 87人</td> <td>疲れや体のこりを解消するためのストレッチ教室</td> </tr> <tr> <td>ウエイトトレーニング教室</td> <td>2月5日(水) 2月6日(木)</td> <td>総合体育館</td> <td>延 19人</td> <td>令和元年度に導入したウエイトトレーニングマシンの効果的な使用方法、年齢、目的に合わせたトレーニング指導</td> </tr> <tr> <td>ウエイトトレーニング教室</td> <td>毎週金曜日</td> <td>油谷体育館 トレーニングセンター</td> <td>延 150人</td> <td>ウエイトトレーニング機器の専門知識習得教室</td> </tr> <tr> <td colspan="5">巡回スポーツ教室</td> </tr> <tr> <td>ノルディック ウォーキング教室</td> <td>6月25日(火)</td> <td>なまこ山総合運動公園</td> <td rowspan="2">延 40人</td> <td>ノルディックウォーキング指導</td> </tr> <tr> <td>スロージョギング教室</td> <td>3月3日(火)</td> <td>総合体育館</td> <td>スロージョギング指導</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合 計</td> <td>延 785人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					教室名	教室日	会場	参加人数	内容	親子スポーツ教室					親子スキー教室	1月25日(土) 2月8日(土)	国設スキー場	延 18人	親子でスキーの体験	子どもスポーツ教室					子どもスキー教室	1月11日(土) 1月12日(日)	国設スキー場	延 58人	基礎指導	成人スポーツ教室					ノルディック ウォーキング教室	6月11日(火) ～7月23日(火)	なまこ山総合運動公園	延 104人	ウォーキング指導 ノルディックウォーキング指導	スロージョギング& ノルディックウォーキング教室	11月14日(木) ～1月30日(木)	総合体育館	延 236人	スロージョギング指導 ウォーキング指導 ノルディックウォーキング指導	ストレッチ教室 (昼の部)	9月10日(火) ～10月8日(火)	総合体育館	延 73人	疲れや体のこりを解消するためのストレッチ教室	ストレッチ教室 (夜の部)	9月11日(水) ～10月9日(水)	総合体育館	延 87人	疲れや体のこりを解消するためのストレッチ教室	ウエイトトレーニング教室	2月5日(水) 2月6日(木)	総合体育館	延 19人	令和元年度に導入したウエイトトレーニングマシンの効果的な使用方法、年齢、目的に合わせたトレーニング指導	ウエイトトレーニング教室	毎週金曜日	油谷体育館 トレーニングセンター	延 150人	ウエイトトレーニング機器の専門知識習得教室	巡回スポーツ教室					ノルディック ウォーキング教室	6月25日(火)	なまこ山総合運動公園	延 40人	ノルディックウォーキング指導	スロージョギング教室	3月3日(火)	総合体育館	スロージョギング指導	合 計			延 785人	
教室名	教室日	会場	参加人数	内容																																																																																
親子スポーツ教室																																																																																				
親子スキー教室	1月25日(土) 2月8日(土)	国設スキー場	延 18人	親子でスキーの体験																																																																																
子どもスポーツ教室																																																																																				
子どもスキー教室	1月11日(土) 1月12日(日)	国設スキー場	延 58人	基礎指導																																																																																
成人スポーツ教室																																																																																				
ノルディック ウォーキング教室	6月11日(火) ～7月23日(火)	なまこ山総合運動公園	延 104人	ウォーキング指導 ノルディックウォーキング指導																																																																																
スロージョギング& ノルディックウォーキング教室	11月14日(木) ～1月30日(木)	総合体育館	延 236人	スロージョギング指導 ウォーキング指導 ノルディックウォーキング指導																																																																																
ストレッチ教室 (昼の部)	9月10日(火) ～10月8日(火)	総合体育館	延 73人	疲れや体のこりを解消するためのストレッチ教室																																																																																
ストレッチ教室 (夜の部)	9月11日(水) ～10月9日(水)	総合体育館	延 87人	疲れや体のこりを解消するためのストレッチ教室																																																																																
ウエイトトレーニング教室	2月5日(水) 2月6日(木)	総合体育館	延 19人	令和元年度に導入したウエイトトレーニングマシンの効果的な使用方法、年齢、目的に合わせたトレーニング指導																																																																																
ウエイトトレーニング教室	毎週金曜日	油谷体育館 トレーニングセンター	延 150人	ウエイトトレーニング機器の専門知識習得教室																																																																																
巡回スポーツ教室																																																																																				
ノルディック ウォーキング教室	6月25日(火)	なまこ山総合運動公園	延 40人	ノルディックウォーキング指導																																																																																
スロージョギング教室	3月3日(火)	総合体育館		スロージョギング指導																																																																																
合 計			延 785人																																																																																	

次頁へ続く

< 事務事業評価結果 >

根拠・関係法令	芦別市社会教育推進計画		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	各種スポーツ教室を通じて、市民が体を動かす機会を提供し、スポーツの振興と健康の増進を図る。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	令和元年度に総合体育館に導入したウエイトトレーニングマシンの利用促進のため、新たな教室を実施し、利用者が増加している。	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>		総合判定	
スポーツに対する市民の関心が高まるよう、魅力のある教室を開催していくほか、時代に即した新たな教室等の開催も検討していき、より多くの市民が参加し、スポーツ振興と健康増進に向けた事業展開を図っていく。		<b>継 続</b>	

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	5 体育振興費
事務事業名	健康都市宣言等事業				
決算額(円)	財源内訳(円)				
463,555	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					463,555
事業目的	健康都市宣言を記念する各種スポーツ大会を開催し、健康づくりを行うとともに、スポーツの普及・発展・体力の増進を図る。				
事業内容及び成果	健康都市宣言記念大会等において各種スポーツ大会を開催した。				
	(1) 実施状況				
	種 目	実施期日	参加人員		
	チャレンジデー2019	5月29日(水)	6,395人		
	市民ラジオ体操会兼市民あるけあるけ運動	10月14日(月)	435人		
	スポーツ少年団交流会	10月14日(月)	325人		
	芦別市なまこ山総合運動公園杯パークゴルフ大会	10月15日(火)	48人		
	合 計		7,203人		
	(2) 委託内容				
	委託事業	委託先	金額	実施期日	参加人員
	市民スキー大会開催委託	芦別スキー連盟	147,410円	2月9日(日)	58人

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	健康都市宣言	
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	健康都市宣言に基づく事業として、宣言の理念である市民に健康で幸せな生活を送っていただくため、各種事業の実施は必要である。
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
<今後の方向性>		総合判定
今後はこれまでの各種スポーツ大会に限らず、健康推進事業の充実強化を図るため、既存事業の見直しや新たな事業展開も検討しつつ、健康都市宣言にふさわしい事業を実施していく。(令和3年度から4款・衛生費に予算科目を組み替えながら、健康都市宣言等事業を推進していく。)		改善



款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	5 体育振興費																																																						
事務事業名	B&G海洋センター事業																																																										
決算額(円)	財源内訳(円)																																																										
836,742	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																																																						
					836,742																																																						
事業目的	水泳・海洋性スポーツ等を通じて水泳技術の向上と海事思想普及・健康・体力づくりを推進するとともに、地域住民相互のふれあい交流の場の提供を図ることを目的とする。																																																										
事業内容及び成果	<p>海洋クラブ・水連・B&amp;Gと連携を取りながら、水泳教室、水泳記録会、大会等の派遣事業を実施した。</p> <p>(1) スポーツグループ養成教室の開放</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教室名</th> <th>実施期間</th> <th>日数</th> <th>参加人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>キッズスイミングクラブ(A)</td> <td>6月4日(火)～8月27日(火)</td> <td>12日</td> <td>延 181人</td> </tr> <tr> <td>キッズスイミングクラブ(B)</td> <td>6月6日(木)～8月29日(木)</td> <td>12日</td> <td>延 95人</td> </tr> <tr> <td>ジュニアスイミングクラブ(A)</td> <td>6月4日(火)～8月27日(火)</td> <td>12日</td> <td>延 524人</td> </tr> <tr> <td>ジュニアスイミングクラブ(B)</td> <td>6月5日(水)～8月28日(水)</td> <td>12日</td> <td>延 296人</td> </tr> <tr> <td>ジュニアスイミングクラブ(C)</td> <td>6月6日(木)～8月29日(木)</td> <td>12日</td> <td>延 236人</td> </tr> <tr> <td>ジュニアスイミングクラブ(育成)</td> <td>6月4日(火)～8月30日(金)</td> <td>24日</td> <td>延 183人</td> </tr> <tr> <td>シニアスイミングクラブ(A)</td> <td>6月3日(月)～9月2日(月)</td> <td>12日</td> <td>延 60人</td> </tr> <tr> <td>シニアスイミングクラブ(B)</td> <td>6月3日(月)～9月2日(月)</td> <td>12日</td> <td>延 48人</td> </tr> <tr> <td>水中エアロビクス教室</td> <td>6月1日(土)～7月6日(土)</td> <td>6日</td> <td>延 81人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>114日</td> <td>延 1,704人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 市民水泳記録会</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施期日</th> <th>種目数</th> <th>参加人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8月25日(日)</td> <td>10種目</td> <td>選手実人員 33人(延69人)、役員 24人、見学者 55人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 委託事業(委託先 B&amp;G芦別海洋クラブ)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B&amp;Gスポーツ大会北海道大会等 選手派遣事業委託</td> <td>(水泳の部) 8月4日(日) 上富良野町 10人参加</td> </tr> </tbody> </table>					教室名	実施期間	日数	参加人員	キッズスイミングクラブ(A)	6月4日(火)～8月27日(火)	12日	延 181人	キッズスイミングクラブ(B)	6月6日(木)～8月29日(木)	12日	延 95人	ジュニアスイミングクラブ(A)	6月4日(火)～8月27日(火)	12日	延 524人	ジュニアスイミングクラブ(B)	6月5日(水)～8月28日(水)	12日	延 296人	ジュニアスイミングクラブ(C)	6月6日(木)～8月29日(木)	12日	延 236人	ジュニアスイミングクラブ(育成)	6月4日(火)～8月30日(金)	24日	延 183人	シニアスイミングクラブ(A)	6月3日(月)～9月2日(月)	12日	延 60人	シニアスイミングクラブ(B)	6月3日(月)～9月2日(月)	12日	延 48人	水中エアロビクス教室	6月1日(土)～7月6日(土)	6日	延 81人	合計		114日	延 1,704人	実施期日	種目数	参加人員	8月25日(日)	10種目	選手実人員 33人(延69人)、役員 24人、見学者 55人	事業名	事業内容	B&Gスポーツ大会北海道大会等 選手派遣事業委託	(水泳の部) 8月4日(日) 上富良野町 10人参加
教室名	実施期間	日数	参加人員																																																								
キッズスイミングクラブ(A)	6月4日(火)～8月27日(火)	12日	延 181人																																																								
キッズスイミングクラブ(B)	6月6日(木)～8月29日(木)	12日	延 95人																																																								
ジュニアスイミングクラブ(A)	6月4日(火)～8月27日(火)	12日	延 524人																																																								
ジュニアスイミングクラブ(B)	6月5日(水)～8月28日(水)	12日	延 296人																																																								
ジュニアスイミングクラブ(C)	6月6日(木)～8月29日(木)	12日	延 236人																																																								
ジュニアスイミングクラブ(育成)	6月4日(火)～8月30日(金)	24日	延 183人																																																								
シニアスイミングクラブ(A)	6月3日(月)～9月2日(月)	12日	延 60人																																																								
シニアスイミングクラブ(B)	6月3日(月)～9月2日(月)	12日	延 48人																																																								
水中エアロビクス教室	6月1日(土)～7月6日(土)	6日	延 81人																																																								
合計		114日	延 1,704人																																																								
実施期日	種目数	参加人員																																																									
8月25日(日)	10種目	選手実人員 33人(延69人)、役員 24人、見学者 55人																																																									
事業名	事業内容																																																										
B&Gスポーツ大会北海道大会等 選手派遣事業委託	(水泳の部) 8月4日(日) 上富良野町 10人参加																																																										

次頁へ続く

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	芦別市社会教育推進計画		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	幅広い世代に対応した各種水泳教室や海洋クラブ活動等を実施することで、市民の体力・健康の増進や水難事故の防止等に効果的である。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>		総合判定	
今後も継続して水泳教室や海洋クラブ活動等、海洋センター事業を実施していくが、プール及び艇庫等の老朽化が進んでいることから、各施設のあり方について関係団体等と協議していく。		<b>継 続</b>	

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	5 体育振興費
事務事業名	各種体育団体助成事業				
決算額(円)	財源内訳(円)				
781,240	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
				482,240	299,000
事業目的	各種体育団体の育成及びスポーツ振興、市民の健康増進を図ることを目的とする。				
事業内容及び成果	各種体育団体に対し、交付金または補助金を交付した。				
	(1) 団体交付				
	区分	交付先	金額		
	芦別市体育協会事業	芦別市体育協会	299,000円		
	(2) 芦別市スポーツ少年団対外競技出場補助				
	区分	交付先	金額		
	第41回春季少年野球大会	芦別ジュニアスターズスポーツ少年団	14,000円		
	第22回北空知地区会長杯ミニバスケットボール大会	芦別バスケットボールスポーツ少年団	36,000円		
	第39回高円宮賜杯全日本学童軟式野球大会	芦別ジュニアスターズスポーツ少年団	14,000円		
	第32回平野杯ミニバスケットボール大会	芦別バスケットボールスポーツ少年団	27,000円		
	秋季少年野球大会	芦別ジュニアスターズスポーツ少年団	18,000円		
	道新旗争奪第13回空知少年野球選手権大会	芦別ジュニアスターズスポーツ少年団	18,000円		
	オオムラサキカップ争奪第26回くりやまサッカーフェスティバル(U-10)	芦別サッカー少年団	41,000円		
	道新杯争奪第10回空知少年野球新人戦大会	芦別ジュニアスターズスポーツ少年団	18,000円		
	第40回北空知地区ミニバスケットボール大会兼第45回北海道ミニバスケットボール大会地区予選	芦別バスケットボールスポーツ少年団	29,000円		
	第17回北空知地区ミニバスケットボール交流大会	芦別バスケットボールスポーツ少年団	42,000円		
	オオムラサキカップ第29回くりやまフットサルフェスティバル(レギュラーの部・新人の部)	芦別サッカー少年団	67,000円		
	明苑ジュニア杯第6回卒業記念フットサル大会	芦別サッカー少年団	7,000円		
	第17回砂川ライオンズカップ杯少年フットサル大会	芦別サッカー少年団	7,000円		
	合計	3団体 13大会	338,000円		
	(3) スポーツ振興事業補助				
	区分	交付先	金額		
	第37回全日本バウンドテニス選手権大会	芦別バウンドテニス協会	101,840円		
	第68回北海道少年剣道錬成大会兼第61回「赤胴」少年剣道錬成大会	芦別剣道連盟	35,400円		
	ヨシカワ杯バウンドテニス大会	芦別バウンドテニス協会	7,000円		
	合計	2団体 3大会	144,240円		

次頁へ続く

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令		芦別市補助金等交付条例	
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	スポーツ活動を充実させるためには、他チームとの試合や交流会などは重要であり、その活動に対する助成は必要である。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	令和元年度から少年団の各種大会への補助対象要件について、出場回数と対象費目を拡充したことにより、出場大会数の増加につながった。	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
4. 行財政改革（改善・改革等）の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>			総合判定
今後もスポーツの振興及び市民の健康増進を図っていくため、各スポーツ団体への助成を実施していく。			<b>継 続</b>

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	5 体育振興費
事務事業名	各種スポーツ大会等招致				
決算額(円)	財源内訳(円)				
2,131,743	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					2,131,743
事業目的	各種スポーツ大会等を招致し、スポーツの魅力やすばらしさを学ぶ機会を提供することにより、さらなるスポーツ意識の高揚を図る。				
事業内容及び成果	<p>1 2019日本プロ野球OBクラブベースボールサマーキャンプ</p> <p>(1) 開催日 8月5日(月)～7日(水)</p> <p>(2) 会場 市民球場、球技場</p> <p>(3) 講師 投手担当 有澤 賢持(元ヤクルト)、川崎憲次郎(元ヤクルト)、林 昌範(元日ハム) 野手担当 高橋 慶彦(元広島)、本間 満(元ソフトバンク)、谷内田敦士(元読売)</p> <p>(4) 参加者 143人</p> <p>2 石屋製菓白い恋人杯第27回日刊スポーツ芦別少年フットサルフェスティバル</p> <p>(1) 開催日 11月23日(土)・24日(日)</p> <p>(2) 会場 総合体育館、勤労者体育センター、芦別中学校体育館</p> <p>(3) 参加者 40チーム 選手387人、監督・コーチ123人</p> <p>3 サマーベースボールフェスティバル2019</p> <p>○「稲葉SCO×荒木ファーム監督トークショー&amp;映画上映会」</p> <p>(1) 開催日 8月9日(金)</p> <p>(2) 会場 総合体育館</p> <p>(3) 来場者 240人</p> <p>○2019プロ野球イースタン・リーグ公式戦「北海道日本ハムファイターズvs千葉ロッテマリーンズ」</p> <p>(1) 開催日 8月10日(土)</p> <p>(2) 会場 芦別市民球場</p> <p>(3) 来場者 2,647人</p>				

次頁へ続く

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	各種スポーツ大会等を招致することは、市内関係者のスポーツ精神や技術の向上につながるほか、交流人口が増加することで市内経済の発展に寄与するものである。
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	令和元年度に新たにプロ野球イースタン・リーグ公式戦等を招致し、多くの市民でにぎわった。
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
<今後の方向性>		総合判定
OBを含めたプロ野球やVリーグ等、トップアスリートの試合観戦や指導を受ける環境を作ることにより、スポーツの魅力や技術の向上が図られるほか、交流人口の増加による経済効果が期待されることから、今後も既存事業の継続と新規事業の招致に取り組んでいく。		<b>継 続</b>

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	6 施設管理費																												
事務事業名	学校体育施設開放事業																																
決算額(円)	財源内訳(円)																																
812,020	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																												
					812,020																												
事業目的	市民のスポーツの活動の場として、小中学校の体育施設を開放することを目的とする。																																
事業内容及び成果	<p>開放実施校において利用団体と期間・時間帯等の調整を行い、令和元年度からラグビーを利用種目に追加したほか、広報等を通じて市民周知を図るなど、利用の拡大に努めた。</p> <p>(1) 体育館利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>開放日数</th> <th>利用人員</th> <th>開放期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芦別小学校</td> <td>143日</td> <td>2,713人</td> <td>5月7日(火)～2月28日(金)</td> </tr> <tr> <td>上芦別小学校</td> <td>131日</td> <td>1,735人</td> <td>5月7日(火)～2月28日(金)</td> </tr> <tr> <td>芦別中学校</td> <td>78日</td> <td>1,377人</td> <td>10月15日(火)～2月28日(金)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>351日</td> <td>5,825人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) プール利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>開放日数</th> <th>利用人員</th> <th>開放期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上芦別小学校</td> <td>33日</td> <td>68人</td> <td>7月8日(月)～8月17日(土)</td> </tr> </tbody> </table>					学校名	開放日数	利用人員	開放期間	芦別小学校	143日	2,713人	5月7日(火)～2月28日(金)	上芦別小学校	131日	1,735人	5月7日(火)～2月28日(金)	芦別中学校	78日	1,377人	10月15日(火)～2月28日(金)	合計	351日	5,825人		学校名	開放日数	利用人員	開放期間	上芦別小学校	33日	68人	7月8日(月)～8月17日(土)
学校名	開放日数	利用人員	開放期間																														
芦別小学校	143日	2,713人	5月7日(火)～2月28日(金)																														
上芦別小学校	131日	1,735人	5月7日(火)～2月28日(金)																														
芦別中学校	78日	1,377人	10月15日(火)～2月28日(金)																														
合計	351日	5,825人																															
学校名	開放日数	利用人員	開放期間																														
上芦別小学校	33日	68人	7月8日(月)～8月17日(土)																														

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	芦別市立学校の施設の使用に関する規則		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	施設の有効活用と利用者の活動機会が増えることで、スポーツの振興が図られるため必要である。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	行政改革推進委員会から、行財政改革を推進するうえでは、一定程度の利用施設の集約化が必要であるとの提言を受けている。	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
<今後の方向性>			
今後も市民のスポーツ振興・健康維持のため、学校体育施設を有効に活用していく。なお、上記の提言に対しては、スポーツ少年団の練習機会の確保も必要であり、スポーツ振興の観点からも、現状どおり学校体育施設を開放していく。			
総合判定			
継続			

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	6 施設管理費					
事務事業名	各種社会体育施設管理運営業務									
決算額(円)	財源内訳(円)									
19,859,089	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源					
				982,589	18,876,500					
事業目的	市民の心身の健全な発達及び体育の普及振興を図るため、スポーツを行う場を提供し、体力・健康を増進することを目的とする。									
事業内容及び成果	各種社会体育施設の現状・利用状況等を把握し、市民がより快適に利用できるよう適切な管理運営を行った。									
	(1) 各種社会体育施設利用者数									
	施設名	利用期間	利用者	対前年比	使用料					
	勤労者体育センター	通年	9,818人	△2,423人	687,433円					
	本町テニスコート	5月～10月	783人	159人						
	上芦別球場	5月～10月	821人	△115人	24,660円					
	合計		11,422人	△2,379人	712,093円					
	(2) 芦別市B&G海洋センター利用状況									
	延利用人員						開設	一日平均	使用料金	
	幼児	小学生	中学生	高校生	一般	見学者	合計	日数	利用者数	
	446人	1,754人	143人	77人	1,407人	902人	4,729人	104日間	45.5人	216,130円

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	芦別市社会体育施設条例、芦別市社会教育推進計画		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	市民の体力の向上や健康維持・増進のため、社会体育施設は必要である。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	行政改革推進委員委から、勤労者体育センターのNPO法人等への委託化を検討すべきとの提言を受けている。	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	上記の提言を受けているものの、受け皿となる団体が確保できないなどの理由から、当面は直営で管理運営を行っていく。
<今後の方向性>		総合判定	
市民が体力・健康増進のため利用しやすい環境を維持するため、今後も適正に施設の管理を行っていく。また、大会や合宿誘致を推進するため、市内の体育施設を最大限に活用していく。		継続	



款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	7 総合運動公園体育施設管理費	
事務事業名	総合運動公園維持管理業務					
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)					
88,592,159	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源	
				6,328,262	82,263,897	
事業目的	市民の心身の健全な発達及び体育の普及振興を図るため、スポーツを行う場を提供し、地域のスポーツ振興と交流人口の拡大に資する。					
事業内容及び成果	各体育施設の管理業務については、専門的な知識を有している業者へ委託することで良好な状態を保つことができ、一般利用のほか、大会・合宿の受け入れも円滑に行った。					
	(1) なまこ山総合運動公園利用者数					
	施設名	利用者数	うち共用利用	うち専用利用	対前年比	平成30年度
	総合体育館	45,757人	12,396人	33,361人	△11,969人	57,726人
	陸上競技場	5,474人	1,398人	4,076人	△1,968人	7,442人
	市民球場	6,159人		6,159人	△199人	6,358人
	球技場	9,016人		9,016人	9,016人	0人
	パークゴルフ場	11,074人	10,206人	868人	309人	10,765人
	歩くスキーコース	100人	100人		5人	95人
	合 計	77,580人	24,100	53,480人	△4,806人	82,386人
	(2) 各種施設における主な大会					
	施設名	主 な 大 会			利用人数	
	総合体育館	第36回北空知地区夏季ミニバスケットボール大会兼第40回全道夏季交歓大会地区予選(6月14日(金)～6月16日(日))			550人	
		令和元年度北海道中学校体育大会北空知中学校バスケットボール競技大会(7月1日(月)～7月3日(水))			800人	
		第47回空知地区高等学校弓道選抜大会兼第41回北海道高等学校弓道選抜大会北北海道大会空知支部予選会(9月14日(土))			130人	
		令和元年度北海道高等学校バスケットボール選抜大会北空知地区予選(9月22日(日))			300人	
		第48回全国高等学校選抜バドミントン選手権大会北北海道予選会北空知地区予選会(12月8日(日))			150人	
	球技場	2019年度道新旗第39回全道女子サッカー選手権大会兼皇后杯JFA第41回全日本女子サッカー選手権大会北海道大会(9月14日(土)～9月16日(月・祝))			660人	
		令和元年度第98回全国高校サッカー選手権大会北海道大会(10月12日(土)～10月14日(月・祝))			2,400人	
	市民球場	全日本少年軟式野球大会北空知支部予選(6月22日(土))			150人	
		プロ野球「楽天」公式戦「日本ハムファイターズVS千葉ロッテマリーンズ」(8月10日(土))			3,647人	
		MLBドリームカップ軟式野球北海道大会(9月28日(土)～9月29日(日))			260人	
	パークゴルフ場	第5回社会を明るくする運動PG大会(7月22日(月))			100人	
		第8回芦別市なまこ山総合運動公園杯PG大会(10月15日(火))			48人	
	(3) 施設整備事業					
	ウエイトトレーニングマシン(セノー(株)製)				5,778,000円	

次頁へ続く

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	芦別市なまこ山総合運動公園体育施設条例		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	市民の体力の向上や健康維持・増進のため各施設は必要であり、総合運動公園を核としてスポーツ大会及び合宿の誘致が推進できる。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	行政改革推進委員会から、総合運動公園のNPO法人等への委託化を検討すべきとの提言を受けている。	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	電気料の特約割引等による削減効果額 386 千円/年
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	上記の提言を受けているものの、受け皿となる団体が確保できないなどの理由から、当面は直営で管理運営を行っていく。
<今後の方向性>		総合判定	
今後も市民のスポーツ活動の充実と大会や合宿誘致による市外からの交流人口の増加を図り、施設の有効活用を図っていく。		<b>継 続</b>	

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	8 市民会館・青年センター費
事務事業名	市民会館・青年センター管理運営業務				
決算額(円)	財源内訳(円)				
32,904,509	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
				1,791,800	31,112,709
事業目的	生涯学習の拠点施設として、管理運営を適切に行い、市民への学習機会の場を提供することを目的とする。				
事業内容及び成果	老朽箇所等の修繕をしながら、市民会館及び青年センターの管理運営を行った。				
	(1) 市民会館利用状況				
	区分	件数	利用人員	月平均	使用料
	大ホール	112件	6,799人	567人	430,192円
	中ホール	207件	5,358人	447人	295,606円
	その他	26件	400人	33人	51,268円
	合計	345件	12,557人	1,047人	777,066円
	(2) 青年センター利用状況				
	区分	件数	利用人員	月平均	使用料
	体育館	個人	3,212人	268人	133,079円
		団体	4,772人	398人	
	研修室・和室	843件	11,917人	993人	760,718円
	合計	914件	19,901人	1,659人	893,797円
	(3) 施設改修関係				
	施設名	主な改修内容			
	市民会館・青年センター	① 市民会館外壁パネル修繕 ② 市民会館・青年センター鉄扉 鉄壁塗装修繕 ③ 市民会館・青年センター事務所天井内冷水配管漏水修繕 ④ 青年センターボイラー部品取替修繕 ⑤ 市民会館・青年センター発電機蓄電池用触媒栓取替修繕 ⑥ 市民会館ロビールーフドレン管漏水修繕 ⑦ 市民会館・青年センタースポット型煙感知器取替修繕			

次頁へ続く

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令		芦別市民会館・芦別市青年センター条例	
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	本市の生涯学習活動の拠点施設として、市民会館・青年センターの管理運営が必要である。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	行政改革推進委員会から、青年センター等の施設の管理運営などは、NPO法人等に委託することについて可能と思われるので検討したいとの提言や、生涯学習の拠点施設も維持・充実させ、市民も参画することによって、幅広い年齢の方がさらに利用しやすくなるような場を提供していくべきであるとの提言がなされている。また、市民から、市民会館や青年センターのトイレの洋式化について要望が出されている。	
4. 行財政改革（改善・改革等）の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	電気料の特約割引等による削減効果額 985 千円/年
	他の事業との統合や民間委託など	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	上記の提言を踏まえ、令和4年度を目途として指定管理者制度の導入の検討を進めていく。
<今後の方向性>			総合判定
社会教育・生涯学習の拠点施設として利用しやすい環境を維持・整備し、今後も適正に施設の管理を行っていく。なお、上記の要望を踏まえ、令和2年度に市民会館・青年センターのトイレを洋式化する。			<b>継 続</b>

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	8 市民会館・青年センター費
事務事業名	社会教育施設有効活用業務				
決算額(円)	財源内訳(円)				
0	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
事業目的	社会教育施設を有効的に活用し、市民の生涯学習活動に対する効果的な支援をする。				
事業内容及び成果	社会教育施設として、市民の生涯学習活動を支援するため、イベントの開催や展示を行うなど、施設の有効活用に努めた。				

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令			
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	社会教育施設として、市民の生涯学習活動を支援するため、学習や文化・スポーツ活動の場の提供など、市が施設の有効活用に努める必要がある。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	市民の生涯学習活動を支援するため、イベントの開催や展示等を行うことにより、生涯学習活動の意欲を高めるとともに、来場者等と享受することができ、市民の福祉の向上が図られている。	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	行政改革推進委員会から、子どもから大人まで住み続けたいと思えるようなまちにしていくためには、生涯学習の拠点施設を維持・充実させ、市民も参画することによって、幅広い年齢の方がさらに利用したくなるような、より魅力ある場を提供していくべきであるとの提言がなされている。	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>			総合判定
今後も社会教育施設・生涯学習の拠点施設として利用しやすい環境を維持・整備しながら、上記の提言も踏まえ、より魅力ある場の提供など、さらなる有効活用に努めていく。			継続

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	9 図書館費																														
事務事業名	図書館管理運営業務																																		
決算額(円)	財源内訳(円)																																		
9,177,453	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																														
				62,002	9,115,451																														
事業目的	図書館施設の維持管理及び施設周辺の環境整備を適切に行い、市民の教養と文化の発展に寄与することを目的とする。																																		
事業内容及び成果	<p>適切な維持管理の実施、計画的な設備機器の更新、適切な図書館運営の実施</p> <p>利用状況</p> <p>① 図書館年間入館者数 23,216人(1日平均 87人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年間利用者数</th> <th>貸出冊数</th> <th>AV利用者数</th> <th>開館日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>3,460人</td> <td>5,437冊</td> <td>615人</td> <td rowspan="3">267日</td> </tr> <tr> <td>一般</td> <td>19,756人</td> <td>60,486冊</td> <td>1,153人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>23,216人</td> <td>65,923冊</td> <td>1,768人</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 移動図書館車年間利用数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>貸出冊数</th> <th>巡回数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>522冊</td> <td rowspan="3">244回</td> <td rowspan="3">ステーション数 12箇所</td> </tr> <tr> <td>一般</td> <td>3,965冊</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,487冊</td> </tr> </tbody> </table>					区分	年間利用者数	貸出冊数	AV利用者数	開館日数	児童	3,460人	5,437冊	615人	267日	一般	19,756人	60,486冊	1,153人	計	23,216人	65,923冊	1,768人	区分	貸出冊数	巡回数	備考	児童	522冊	244回	ステーション数 12箇所	一般	3,965冊	計	4,487冊
区分	年間利用者数	貸出冊数	AV利用者数	開館日数																															
児童	3,460人	5,437冊	615人	267日																															
一般	19,756人	60,486冊	1,153人																																
計	23,216人	65,923冊	1,768人																																
区分	貸出冊数	巡回数	備考																																
児童	522冊	244回	ステーション数 12箇所																																
一般	3,965冊																																		
計	4,487冊																																		

次頁へ続く

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	芦別市立図書館条例、芦別市立図書館条例施行規則、図書館法		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	施設の維持管理及び周辺環境整備を行い、市民の教養と文化の発展に寄与するため、良好な読書環境を提供していく必要がある。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	身体障がい者用のトイレが改修されたことで、快適で安心な環境整備ができた。	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	行政改革推進委員会から、建築後30年以上経過している図書館の老朽化に伴い、施設のあり方について提言を受けている。	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	電気料の特約割引等による削減効果額 66 千円/年
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	行財政改革の取組により、図書館の指定管理者委託を進めているが、先進地視察の結果や図書館協議会委員との意見交換を踏まえ、運営面や費用面において、指定管理者委託化の効果が低いことから、当面は直営で運営する。
<今後の方向性>		総合判定	
今後も施設の適正な管理運営に努めながら、安全・安心な読書環境を整備していく。なお、上記の提言を踏まえ、当面は単独施設として延命化を図っていくが、将来に向けては複合化を含めて施設のあり方を検討していく。		継続	

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	9 図書館費																																																																										
事務事業名	読書普及活動																																																																														
決算額(円)	財源内訳(円)																																																																														
3,543,245	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																																																																										
					3,543,245																																																																										
事業目的	各種事業を展開し、読書の普及に努める。																																																																														
事業内容及び成果	<p>小・中学校との連携を深め、利用者の増加に努めた。</p> <p>(1) 備品整備 図書及び視聴覚資料・庁用器具等の購入</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>数量</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般及び児童図書</td> <td>1,450冊</td> <td>2,366,306円</td> </tr> <tr> <td>DVD</td> <td>18巻</td> <td>241,153円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>2,607,459円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 図書館行事実施状況</p> <p>① 図書館行事</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施区分</th> <th>事業名</th> <th>実施日等</th> <th>開催時間</th> <th>参加者数等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">毎月</td> <td>絵本読み聞かせ会</td> <td>毎月2回 土曜日</td> <td>14:00～15:00</td> <td>21回 25人</td> </tr> <tr> <td>えほんおはなし会</td> <td>毎月2回 金曜日</td> <td>11:00～11:30</td> <td>24回 52人</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">年1回</td> <td>ぬいぐるみの図書館おとまり会</td> <td>5月11日(土)～ 5月18日(土)</td> <td>14:00～15:30</td> <td>33人</td> </tr> <tr> <td>図書館一日司書体験</td> <td>7月13日(土)</td> <td>13:00～16:00</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>夜のとしよかんたんけん隊</td> <td>8月31日(土)～ 9月1日(日)</td> <td>19:00～翌日9:00</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td colspan="4">図書館まつり</td> </tr> <tr> <td>お宝本発掘市</td> <td>11月2日(土) 11月3日(日)</td> <td>14:00～翌日17:00</td> <td>103人</td> </tr> <tr> <td>仕事体験・工作等</td> <td>11月3日(日)</td> <td>14:00～16:00</td> <td>42人</td> </tr> <tr> <td>ピエロのグッチくん コメディパフォーマンス ショー</td> <td>11月3日(日)</td> <td>14:00～14:30</td> <td>59人</td> </tr> <tr> <td>クリスマス会</td> <td>12月15日(日)</td> <td>14:00～15:00</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>年5回</td> <td>ブックスタート事業</td> <td>BCG接種時</td> <td>13:00～</td> <td>45人</td> </tr> </tbody> </table> <p>② ボランティアによる行事</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施区分</th> <th>事業名</th> <th>実施日等</th> <th>開催時間</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年1回</td> <td>古本市</td> <td>5月26日(日)</td> <td>14:00～15:30</td> <td>95人</td> </tr> </tbody> </table>					区分	数量	金額	一般及び児童図書	1,450冊	2,366,306円	DVD	18巻	241,153円	合計		2,607,459円	実施区分	事業名	実施日等	開催時間	参加者数等	毎月	絵本読み聞かせ会	毎月2回 土曜日	14:00～15:00	21回 25人	えほんおはなし会	毎月2回 金曜日	11:00～11:30	24回 52人	年1回	ぬいぐるみの図書館おとまり会	5月11日(土)～ 5月18日(土)	14:00～15:30	33人	図書館一日司書体験	7月13日(土)	13:00～16:00	4人	夜のとしよかんたんけん隊	8月31日(土)～ 9月1日(日)	19:00～翌日9:00	8人	図書館まつり				お宝本発掘市	11月2日(土) 11月3日(日)	14:00～翌日17:00	103人	仕事体験・工作等	11月3日(日)	14:00～16:00	42人	ピエロのグッチくん コメディパフォーマンス ショー	11月3日(日)	14:00～14:30	59人	クリスマス会	12月15日(日)	14:00～15:00	18人	年5回	ブックスタート事業	BCG接種時	13:00～	45人	実施区分	事業名	実施日等	開催時間	参加者数	年1回	古本市	5月26日(日)	14:00～15:30	95人
区分	数量	金額																																																																													
一般及び児童図書	1,450冊	2,366,306円																																																																													
DVD	18巻	241,153円																																																																													
合計		2,607,459円																																																																													
実施区分	事業名	実施日等	開催時間	参加者数等																																																																											
毎月	絵本読み聞かせ会	毎月2回 土曜日	14:00～15:00	21回 25人																																																																											
	えほんおはなし会	毎月2回 金曜日	11:00～11:30	24回 52人																																																																											
年1回	ぬいぐるみの図書館おとまり会	5月11日(土)～ 5月18日(土)	14:00～15:30	33人																																																																											
	図書館一日司書体験	7月13日(土)	13:00～16:00	4人																																																																											
	夜のとしよかんたんけん隊	8月31日(土)～ 9月1日(日)	19:00～翌日9:00	8人																																																																											
	図書館まつり																																																																														
	お宝本発掘市	11月2日(土) 11月3日(日)	14:00～翌日17:00	103人																																																																											
	仕事体験・工作等	11月3日(日)	14:00～16:00	42人																																																																											
	ピエロのグッチくん コメディパフォーマンス ショー	11月3日(日)	14:00～14:30	59人																																																																											
クリスマス会	12月15日(日)	14:00～15:00	18人																																																																												
年5回	ブックスタート事業	BCG接種時	13:00～	45人																																																																											
実施区分	事業名	実施日等	開催時間	参加者数																																																																											
年1回	古本市	5月26日(日)	14:00～15:30	95人																																																																											

次頁へ続く



③ 視聴覚関係行事

実施区分	事業名	実施日等	開催時間	参加者数等
毎月	おもひで映画館	毎月2回	14:00～	22回 99人
年1回	「映画の日」特別上映会	11月30日(土)	10:00～	16人
	映像でつづる芦別の歴史(16弾)「炭鉱離職者の仕事探し」	2月15日(土)	14:00～15:30	86人
年4回	こども映画会 (春・夏・秋・冬)	5・7・9・1月	14:00～	4回 24人

④ 展示

【展示(階段・2階ラウンジ) 688人】

実施月	内容	観覧者
4月	いにしへの芦別写真展	60人
5月	和紙人形サークル作品展	55人
6月	芦別市俳句連盟作品展	36人
7月	古瀬勉・真田初美作品展	112人
8月	芦別市書道連盟小品展	24人
9月	花実絵と夢ロゴアート	38人
10月	和紙ちぎり絵「虹の会・慈恵園ハイビスカス」作品展	135人
11月	みどり稚園年中組作品展	50人
12月	北海道写真協会芦別支部作品展	40人
1月	芦美会小作品展	77人
2月	カナディアンワールド特設展	36人
3月	日本習字芦別支部作品展	25人

【展示(ガラスケース)】

実施月	内容
4月	POOH熊谷の模型作品
5月	和紙人形サークル作品展
6月	ジオラマ「かやぶき屋根の家」
7月	木目込み人形サークル作品展
8月	日本の郷土玩具「福島県の張り子人形」
9月	手作りミニチュアハウス
10月	能面作品展
11月	パッチワークサークル作品展
12月	粘土細工作品展
1月	トールペイント作品展
2月	カナディアンワールド特設展
3月	スクラッチアート

次頁へ続く

【特別展示（一般閲覧室）】

実施月	内 容
5月	ポップアップ絵本展
6月	食育（健康推進課）
2月	思い出の三井芦別炭鉱
3月	自殺予防（健康推進課）

⑤ 出前講座・絵本講座

内 容	参加者数等
ピョピョ	4回 25組
遊びの広場	1回 16組
だるまサロン	11回 266組
女性大学	1回 32人
高齢者大学OB会	1回 19組
お茶とお花を楽しむ会	1回 16人

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	芦別市図書館条例、芦別市図書館条例施行規則、図書館法、社会教育法		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	社会教育法に基づき、図書館奉仕による市民の希望に沿い、さらに学校教育を援助し、及び家庭教育の向上に資することを目的としながら事業を推進することが必要である。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	社会人を対象とした出前講座が15回381人増加した。また、行事の見直しを行い、子どもから大人まで楽しめる内容に変更したことで、「図書館まつり」については参加人数が57人増えた。	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	図書館協議会委員から、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながらも、図書館事業の継続や出前講座など高齢者事業の拡大の要望あり。	
4. 行財政改革（改善・改革等）の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>		総合判定	
今後も市内小中学校と連携し、移動図書館車を使った貸出文庫や学級文庫、学校向け図書館事業を充実し、積極的な利用を促していく。また、子どもセンターとさらなる連携を図り、就学前の幼児への読書活動の推進を図るブックスタート事業や絵本講座を引き続き実施していく。なお、上記の要望を踏まえ、出前講座など高齢者事業の拡大に努めていく。		<b>継 続</b>	

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	9 図書館費																								
事務事業名	視聴覚ライブラリー運営事務																												
決算額(円)	財源内訳(円)																												
247,332	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																								
					247,332																								
事業目的	図書館活動の一環として、充実した視聴覚資料を提供し、社会教育・学校教育の充実を図る。																												
事業内容及び成果	<p>広報・ホームページ等で情報の提供を図った。</p> <p>(1) 映像資料整備(購入)</p> <table border="1"> <tr> <th>教材名</th> <th>数量等</th> </tr> <tr> <td>DVD</td> <td>18巻</td> </tr> </table> <p>(2) 利用状況</p> <p>① 教材別利用状況</p> <table border="1"> <tr> <th>16ミリフィルム</th> <th>C D</th> <th>DVD</th> <th>ビデオ(VHS)</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>0人</td> <td>2人</td> <td>936人</td> <td>296人</td> <td>1,234人</td> </tr> </table> <p>② 対象別利用状況</p> <table border="1"> <tr> <th>小学校</th> <th>中学校</th> <th>社会教育</th> <th>一般</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>10件</td> <td>1,224件</td> <td>1,234件</td> </tr> </table>					教材名	数量等	DVD	18巻	16ミリフィルム	C D	DVD	ビデオ(VHS)	合計	0人	2人	936人	296人	1,234人	小学校	中学校	社会教育	一般	合計	0件	0件	10件	1,224件	1,234件
教材名	数量等																												
DVD	18巻																												
16ミリフィルム	C D	DVD	ビデオ(VHS)	合計																									
0人	2人	936人	296人	1,234人																									
小学校	中学校	社会教育	一般	合計																									
0件	0件	10件	1,224件	1,234件																									

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	芦別市図書館条例、芦別市図書館条例施行規則、図書館法、社会教育法		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	図書館活動の一環として、充実した視聴覚資料を提供し、社会教育・学校教育の充実を図ることが必要である。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>			
視聴覚ライブラリーに対する高齢者団体のニーズが高いことから、視聴覚資料を図書館以外の施設で貸出(出前ライブラリー)するなど、新たな展開を図っていく。			総合判定
			継続

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	10 星の降る里百年記念館費																																																											
事務事業名	星の降る里百年記念館管理運営業務																																																															
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)																																																															
19,733,368	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																																																											
				12,289,752	7,443,616																																																											
事業目的	教育及び学術文化と地域の活性化に寄与するため、郷土の自然、歴史、文化に係るあらゆる文化財を収集、保管、調査研究し、展示や教育普及活動に活かし、合わせて学習情報提供事業を行う。																																																															
事業内容及び成果	<p>建物本体及び設備機器の適正な管理を行い、収蔵している文化財の適切な保存を行ったほか、展示物や収蔵品の調査研究に基づき、特別展や教育普及活動を実施した。</p> <p>(1) 入館者の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>有 料</th> <th>無料(減免)</th> <th>特 別 展</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,632人</td> <td>839人</td> <td>4,313人</td> <td>7,784人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 施設の利用状況(研修室・多目的ホール)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>件 数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修会</td> <td>3件</td> <td>152人</td> </tr> <tr> <td>会議・協議会等</td> <td>11件</td> <td>63人</td> </tr> <tr> <td>講座・講習会等</td> <td>2件</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>16件</td> <td>230人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 特別展実施事業(展示会の開催)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事 業 名</th> <th>実施期間</th> <th>観覧者数</th> <th>事業実施団体名等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>写真展「昭和の芦別」</td> <td>4月28日～ 5月31日</td> <td>1,226人</td> <td>芦別市主催事業 企画展</td> </tr> <tr> <td>写真展</td> <td>6月 2日～ 6月30日</td> <td>580人</td> <td>北海道写真協会芦別支部</td> </tr> <tr> <td>絵手紙展</td> <td>7月 3日～ 7月28日</td> <td>599人</td> <td>絵手紙の会「福寿草」</td> </tr> <tr> <td>今野富男が打つ能面展</td> <td>8月 3日～ 8月30日</td> <td>1,225人</td> <td>今野富男 氏</td> </tr> <tr> <td>絵画展</td> <td>9月 1日～ 11月15日</td> <td>410人</td> <td>芦美会</td> </tr> <tr> <td>フォトコンテスト2019応募写真展示会</td> <td>11月 6日～ 11月24日</td> <td>210人</td> <td>芦別商工会議所</td> </tr> <tr> <td>国立アイヌ民族博物館PR展</td> <td>2月15日～ 3月 4日</td> <td>63人</td> <td>文化庁国立アイヌ民族博物館</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td>4,313人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 冷暖房機器の更新 11,550,000円</p>					有 料	無料(減免)	特 別 展	合 計	2,632人	839人	4,313人	7,784人	区 分	件 数	参加人数	研修会	3件	152人	会議・協議会等	11件	63人	講座・講習会等	2件	15人	合 計	16件	230人	事 業 名	実施期間	観覧者数	事業実施団体名等	写真展「昭和の芦別」	4月28日～ 5月31日	1,226人	芦別市主催事業 企画展	写真展	6月 2日～ 6月30日	580人	北海道写真協会芦別支部	絵手紙展	7月 3日～ 7月28日	599人	絵手紙の会「福寿草」	今野富男が打つ能面展	8月 3日～ 8月30日	1,225人	今野富男 氏	絵画展	9月 1日～ 11月15日	410人	芦美会	フォトコンテスト2019応募写真展示会	11月 6日～ 11月24日	210人	芦別商工会議所	国立アイヌ民族博物館PR展	2月15日～ 3月 4日	63人	文化庁国立アイヌ民族博物館	合 計		4,313人	
有 料	無料(減免)	特 別 展	合 計																																																													
2,632人	839人	4,313人	7,784人																																																													
区 分	件 数	参加人数																																																														
研修会	3件	152人																																																														
会議・協議会等	11件	63人																																																														
講座・講習会等	2件	15人																																																														
合 計	16件	230人																																																														
事 業 名	実施期間	観覧者数	事業実施団体名等																																																													
写真展「昭和の芦別」	4月28日～ 5月31日	1,226人	芦別市主催事業 企画展																																																													
写真展	6月 2日～ 6月30日	580人	北海道写真協会芦別支部																																																													
絵手紙展	7月 3日～ 7月28日	599人	絵手紙の会「福寿草」																																																													
今野富男が打つ能面展	8月 3日～ 8月30日	1,225人	今野富男 氏																																																													
絵画展	9月 1日～ 11月15日	410人	芦美会																																																													
フォトコンテスト2019応募写真展示会	11月 6日～ 11月24日	210人	芦別商工会議所																																																													
国立アイヌ民族博物館PR展	2月15日～ 3月 4日	63人	文化庁国立アイヌ民族博物館																																																													
合 計		4,313人																																																														

次頁へ続く

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	芦別市百年記念館条例・芦別市百年記念館条例施行規則、博物館法		
1. 必要性 (市が実施しなければならぬ理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	郷土資料の収集、保管、展示及び教育的活用を行うため必要である。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	日本遺産認定により炭鉱遺産が再認識されており、市内の文化財見学にあわせて203名の観覧者が増加した。	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	電気料の特約割引等による削減効果額 331 千円/年
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	指定管理委託を予定していたが、委託先において、専門性のある人材確保が困難となったため、引き続き市が運営していく。
<今後の方向性>		総合判定	
今後も施設の適正な管理運営を行うほか、地域の身近な自然や歴史、文化に関する資料や情報の収集、展示活動や教育普及活動の充実に努めていく。		<b>継 続</b>	

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	10 星の降る里百年記念館費
事務事業名	文化財保護事業				
決算額(円)	財源内訳(円)				
411,154	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					411,154
事業目的	文化財の保護及び教育的活用の促進を図る。				
事業内容及び成果	適切な保護、保存を図るための環境を整備し、文化財の保護及び教育的活用を行った。				

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	芦別市文化財保護条例、芦別市文化財保護審議会規則、北海道文化財保護条例、文化財保護法				
1. 必要性 (市が実施しなければならぬ理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	文化財の保護及び教育的活用の促進を図るため必要である。			
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	国の登録有形文化財「旧三井芦別鉄道炭山川橋梁」と「星槎大学(旧頓城小学校)校舎及び体育館」が『炭鉄港』として、令和元年度日本遺産に認定されたことを受け、道内外に発信する契機となったことなど、文化財への関心が高まっている。			
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	行政改革推進委員会から、令和元年度末で定年退職となる学芸員の後継者を育成すべきとの提言を受けている。			
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
<今後の方向性>					総合判定
日本遺産に認定された炭鉱遺産資源をはじめとする本市の文化財の活用による教育普及を図るとともに、これらの文化財の適切な保存等を行い、市民文化の向上に努めていく。なお、上記の提言も踏まえ、学芸員の後継者の配置を行っているが、前任者からの指導・助言も受けながら事業を進めていく。					継続

款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	11 合宿振興費																																																																
事務事業名	合宿振興事業																																																																				
決算額(円)	財源内訳(円)																																																																				
29,820,314	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源																																																																
			13,100,000	9,621,272	7,099,042																																																																
事業目的	スポーツ・文化合宿の誘致・受入れを行い、スポーツ及び文化の振興並びに地域の活性化を図る。																																																																				
事業内容及び成果	<p>全日本、実業団クラスの受入れのほか、大学・高校等の合宿が快適に実施できるよう施設の適切な管理運営を行った。</p> <p>(1) 合宿事業（あしべつ宿泊交流センター・スターライトホテル等）</p> <table border="0"> <tr> <td>① 実業団バレーボールJTマーヴェラス</td> <td>(12泊13日)</td> <td>延参加人数</td> <td>354人</td> </tr> <tr> <td>② 北海道バレーボール協会事業（年2回実施）</td> <td>(10泊12日)</td> <td>延参加人数</td> <td>3,520人</td> </tr> <tr> <td>③ ベースボールサマーキャンプ</td> <td>(2泊3日)</td> <td>延参加人数</td> <td>542人</td> </tr> <tr> <td>④ 北海道大学バドミントン部</td> <td>(7泊8日)</td> <td>延参加人数</td> <td>176人</td> </tr> <tr> <td>⑤ 北海学園大学体育会弓道部</td> <td>(5泊6日)</td> <td>延参加人数</td> <td>162人</td> </tr> <tr> <td>⑥ 北海道大学武田流中村派合気道部</td> <td>(5泊6日)</td> <td>延参加人数</td> <td>134人</td> </tr> <tr> <td>⑦ その他 64団体</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>70団体</td> <td>延参加人数</td> <td>9,489人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>競技種目</td> <td>17種目</td> </tr> </table> <p>(2) 研修・教育活動事業（あしべつ宿泊交流センター）</p> <table border="0"> <tr> <td>① 星槎国際高等学校スクーリング事業（20団体実施）</td> <td>(51泊71日)</td> <td>延参加人数</td> <td>2,696人</td> </tr> <tr> <td>② 北翔大学</td> <td>(2泊3日)</td> <td>延参加人数</td> <td>42人</td> </tr> <tr> <td>③ 札幌厚別高等学校軽音楽部</td> <td>(3泊4日)</td> <td>延参加人数</td> <td>118人</td> </tr> <tr> <td>④ あしべつ通学合宿</td> <td>(4泊5日)</td> <td>延参加人数</td> <td>74人</td> </tr> <tr> <td>⑤ 林業体験ツアー（㈱石塚計画デザイン事務所）</td> <td>(3泊4日)</td> <td>延参加人数</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>24団体</td> <td>延参加人数</td> <td>2,940人</td> </tr> </table> <p>(3) 宿泊交流センター整備事業</p> <table border="0"> <tr> <td>① 宿泊交流センター建設工事基本・実施設計委託料</td> <td>13,970,000円</td> </tr> <tr> <td>② 宿泊交流センター建設工事地質調査委託料</td> <td>2,585,000円</td> </tr> </table>					① 実業団バレーボールJTマーヴェラス	(12泊13日)	延参加人数	354人	② 北海道バレーボール協会事業（年2回実施）	(10泊12日)	延参加人数	3,520人	③ ベースボールサマーキャンプ	(2泊3日)	延参加人数	542人	④ 北海道大学バドミントン部	(7泊8日)	延参加人数	176人	⑤ 北海学園大学体育会弓道部	(5泊6日)	延参加人数	162人	⑥ 北海道大学武田流中村派合気道部	(5泊6日)	延参加人数	134人	⑦ その他 64団体				合計	70団体	延参加人数	9,489人			競技種目	17種目	① 星槎国際高等学校スクーリング事業（20団体実施）	(51泊71日)	延参加人数	2,696人	② 北翔大学	(2泊3日)	延参加人数	42人	③ 札幌厚別高等学校軽音楽部	(3泊4日)	延参加人数	118人	④ あしべつ通学合宿	(4泊5日)	延参加人数	74人	⑤ 林業体験ツアー（㈱石塚計画デザイン事務所）	(3泊4日)	延参加人数	10人	合計	24団体	延参加人数	2,940人	① 宿泊交流センター建設工事基本・実施設計委託料	13,970,000円	② 宿泊交流センター建設工事地質調査委託料	2,585,000円
① 実業団バレーボールJTマーヴェラス	(12泊13日)	延参加人数	354人																																																																		
② 北海道バレーボール協会事業（年2回実施）	(10泊12日)	延参加人数	3,520人																																																																		
③ ベースボールサマーキャンプ	(2泊3日)	延参加人数	542人																																																																		
④ 北海道大学バドミントン部	(7泊8日)	延参加人数	176人																																																																		
⑤ 北海学園大学体育会弓道部	(5泊6日)	延参加人数	162人																																																																		
⑥ 北海道大学武田流中村派合気道部	(5泊6日)	延参加人数	134人																																																																		
⑦ その他 64団体																																																																					
合計	70団体	延参加人数	9,489人																																																																		
		競技種目	17種目																																																																		
① 星槎国際高等学校スクーリング事業（20団体実施）	(51泊71日)	延参加人数	2,696人																																																																		
② 北翔大学	(2泊3日)	延参加人数	42人																																																																		
③ 札幌厚別高等学校軽音楽部	(3泊4日)	延参加人数	118人																																																																		
④ あしべつ通学合宿	(4泊5日)	延参加人数	74人																																																																		
⑤ 林業体験ツアー（㈱石塚計画デザイン事務所）	(3泊4日)	延参加人数	10人																																																																		
合計	24団体	延参加人数	2,940人																																																																		
① 宿泊交流センター建設工事基本・実施設計委託料	13,970,000円																																																																				
② 宿泊交流センター建設工事地質調査委託料	2,585,000円																																																																				

次頁へ続く

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	芦別市社会教育推進計画		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	交流人口の増加により、市内経済の活性化を図る必要がある。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	行政改革推進委員会から、市内の経済効果が発揮されるよう地元農産物の食材や特産品を用いた食事の提供など、経済波及効果が少しでも多くなるような取組を検討すべきとの提言を受けている。	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>		総合判定	
リピート団体には継続的な合宿実施に向けた誘致活動を行うほか、今後は建設中のあしべつ宿泊交流センターを活用し、大型合宿の受入や新規団体の誘致も行っていく。なお、上記の提言を踏まえ、宿泊交流センター食事提供事業者にできる限り地元食材・特産品を用いるよう促していくとともに、大規模合宿等においては、観光PR用DVDの活用等により、地域経済波及効果をより誘発するよう努めていく。		<b>継 続</b>	



款	10 教育費	項	5 保健体育費	目	1 保健体育総務費															
事務事業名	学校保健及び各種検診事業																			
決算額(円)	財源内訳(円)																			
4,499,426	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源															
				238,740	4,260,686															
事業目的	学校における保健管理及び安全管理を行うことにより、児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施に資する。																			
事業内容及び成果	<p>児童生徒及び教職員に対し、学校保健安全法に規定する各健診を実施した。また、日本スポーツ振興センターや全国市長会学校災害賠償保険等に加入することにより、学校内での事故、災害時に備えた。</p> <p>(1) 児童生徒健康診断(内科健診ほか)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人数 (内科健診の人数)</th> <th>委託先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>366人</td> <td>① 一般社団法人芦別市医師会 ② 芦別歯科医会</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>215人</td> <td>③ 芦別市薬剤師会</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 教職員健康診断(総合健診)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人数</th> <th>委託先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小中学校</td> <td>56人</td> <td>市立芦別病院</td> </tr> </tbody> </table>					区分	人数 (内科健診の人数)	委託先	小学校	366人	① 一般社団法人芦別市医師会 ② 芦別歯科医会	中学校	215人	③ 芦別市薬剤師会	区分	人数	委託先	小中学校	56人	市立芦別病院
区分	人数 (内科健診の人数)	委託先																		
小学校	366人	① 一般社団法人芦別市医師会 ② 芦別歯科医会																		
中学校	215人	③ 芦別市薬剤師会																		
区分	人数	委託先																		
小中学校	56人	市立芦別病院																		

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	学校保健安全法		
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	学校における保健管理及び安全管理を行い、児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図り、学校教育を円滑に実施する必要がある。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>	総合判定		
今後も児童生徒、教職員の健康の保持を図るために適切に健康診断を実施するほか、教育活動が安全に実施されるよう、適切に対応していく。	継続		

款	10 教育費	項	5 保健体育費	目	1 保健体育総務費
事務事業名	体育振興事業				
決算額(円)	財源内訳(円)				
311,200	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
					311,200
事業目的	児童生徒が健康で安全な学校生活を送るため、必要な習慣や態度を養い、心身の調和的発達を図る。				
事業内容及び成果	小中学校におけるスキー授業に伴い、外部指導者(講師)への謝礼及びスキー道具の運搬に係る費用を負担した。				
区分	参加校	スキー場利用回数	リフト利用回数	外部指導者(延べ人数)	
スキー授業の状況	3校	14回	延5,058回	41人	

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令			
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	児童生徒が健康で安全な学校生活を送り、心身の調和的発達を図るためには、自然環境や地域特性に合わせた学校での体育事業の実施が必要である。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>			総合判定
児童生徒の健康増進と体力の向上を図るため、学習指導要領と学校の教育課程に基づき、引き続き北海道の冬期間における自然環境を生かしたスキー授業を実施していく。			継続

款	10 教育費	項	5 保健体育費	目	2 学校プール管理費								
事務事業名	学校プール管理運営業務												
決算額(円)	財源内訳(円)												
5,165,986	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源								
					5,165,986								
事業目的	児童の健全な育成のため、学校プールの安全で適切な管理運営を行う。												
事業内容及び成果	<p>1 学校プールの安全確保に配慮した管理運営を行った。</p> <p>2 開放期間 令和元年7月1日(月)～8月30日(金) 若葉プール 令和元年7月8日(月)～8月30日(金) 上小プール</p> <p>3 施設修繕関係</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芦別小学校</td> <td>37,540円</td> </tr> <tr> <td>上芦別小学校</td> <td>57,780円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>95,320円</td> </tr> </tbody> </table>					学校名	金額	芦別小学校	37,540円	上芦別小学校	57,780円	合計	95,320円
学校名	金額												
芦別小学校	37,540円												
上芦別小学校	57,780円												
合計	95,320円												

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令			
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	児童の健全な育成のため、学校プールの安全で適切な管理運営を行う必要がある。	
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—	
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—	
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>		総合判定	
今後も適切な学校プールの維持管理に努めていく。なお、老朽化が進んできていることから、学校プールのあり方について検討を進めていく。		継続	

款	10 教育費	項	5 保健体育費	目	3 学校給食費												
事務事業名	学校給食事業																
決算額(円)	財 源 内 訳 (円)																
64,971,722	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源												
				32,651,296	32,320,426												
事業目的	<p>1 「学校給食法」に基づき、安全で栄養バランスのとれた食事を提供することにより、児童・生徒の心身の健全な発達に資するとともに、学校給食を通して児童・生徒に日常生活における正しい食習慣と協同の精神を身につけさせる。</p> <p>2 学校給食センター施設の安定した維持管理により、安心、安全な給食の提供をする。</p>																
事業内容及び成果	<p>衛生管理責任者である栄養教諭を中心に、学校給食衛生管理基準に基づく食中毒防止等の管理体制を充実させるとともに、経年により施設・設備等に不具合箇所が発生してきていることから計画的な維持補修を行い、児童・生徒に安心、安全な学校給食を提供した。</p> <p>(1) 実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>給食対象校</th> <th>給食数</th> <th>給食の供給日数</th> <th>1日平均(給食数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校 2校</td> <td>73,465食</td> <td rowspan="3">190日</td> <td rowspan="3">625食</td> </tr> <tr> <td>中学校 2校</td> <td>45,319食</td> </tr> <tr> <td>合計 4校</td> <td>118,784食</td> </tr> </tbody> </table>					給食対象校	給食数	給食の供給日数	1日平均(給食数)	小学校 2校	73,465食	190日	625食	中学校 2校	45,319食	合計 4校	118,784食
給食対象校	給食数	給食の供給日数	1日平均(給食数)														
小学校 2校	73,465食	190日	625食														
中学校 2校	45,319食																
合計 4校	118,784食																
給食費徴収金で賄う経費	区分	決算額	給食費内訳														
	賄材料費	32,844,312円	小学校給食費分 (③=①-②)														
	食品加工委託料	768,761円	75,981食×255円= 19,375,155円①														
	計	33,613,073円	アレルギーによる牛乳停止分(2名) A171食×@47.68円=8,154円 B156食×@47.68円=7,439円 A+B=15,593円② (①-②)=19,359,562円③														
運営費	一般管理費	22,448,750円	中学校給食費分 (⑥=④-⑤)														
	燃料費及び光熱水費	8,909,899円	45,511食×306円= 13,926,366円④														
	計	31,358,649円	アレルギーによる牛乳停止分(1名) 177食×47.68円=8,440円⑤ (④-⑤)=13,917,926円⑥														
合計	合計	64,971,722円	合計(③+⑥) 33,277,488円														
			公費負担 1食平均 258円11銭														

※ 給食費内訳の食数は、試食等を含むため、給食対象校の給食数とは一致しない。

次頁へ続く

(2) 給食業務外部委託状況

- ① 調理業務（主食の米飯とパン）
- ② 配送業務

(3) 地場産品使用状況

品名	年間使用量	品名	年間使用量
① 米（ななつぼし）	5, 6 6 1 kg	⑦ ピーマン	8 kg
② 鶏卵	7 2 2 kg	⑧ きゅうり	7 1 kg
③ じゃがいも	1, 4 6 1 kg	⑨ アスパラ	1 2 kg
④ キャベツ	1 7 1 kg	⑩ ブッキーニ	4 kg
⑤ 長ねぎ	7 0 kg	⑪ ナス	1 9 kg
⑥ だいこん	9 4 kg	⑫ タングロン（90ml）	6 7 5 本

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	学校給食法		
1. 必要性 （市が実施しなければならない理由など）	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	学校給食法に基づき、安心・安全で栄養バランスが取れた食事を提供することにより、児童生徒の心身の健全な育成に資するとともに、学校給食を通して児童生徒に日常生活における望ましい食習慣を育成する必要がある。	
2. 成果 （市民福祉の向上は図られているかなど）	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—	
3. 要望 （市民・団体・議会からの要望など）	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	芦別市学校給食センター運営委員会委員より、児童生徒の将来の健康維持、病気の予防のためにも野菜・果物・魚料理を献立により多く組み入れて欲しいとの要望がある。また、行政改革推進委員会から、児童生徒数の減少に伴い、将来的な学校統合の動向に合わせて、給食センターのあり方を検討すべきとの提言を受けている。	
4. 行財政改革（改善・改革等）の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
	コスト削減など	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	電気料の特約割引等による削減効果額 158 千円／年
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—
<今後の方向性>		総合判定	
施設と調理器具等の老朽化が進んできているが、今後、計画的に更新等を行いながら、学校給食の提供に努めていく。なお、上記の提言・要望を踏まえ、献立の改善に努めていくほか、本市にふさわしい学校給食事業の運営のあり方について検証していく。		<b>継 続</b>	

款	10 教育費	項	6 財産造成費	目	1 財産造成費
事務事業名	学校林管理運営事務				
決算額(円)	財源内訳(円)				
0	国庫支出金	道支出金	市債	その他	一般財源
事業目的	市内学校の営繕及び設備に要する資金を造成し、あわせて児童及び生徒の愛林思想の養成並びに林業教育の振興に資することを目的とする。				
事業内容及び成果	学校林の管理運営を行った。				
	学校名	面積	場所		
	芦別小学校	5.3385 h a	黄金町		
	芦別小学校	0.6669 h a	常磐町		
	上芦別小学校	1.1845 h a	滝里町		

<事務事業評価結果>

根拠・関係法令	芦別市学校基金条例				
1. 必要性 (市が実施しなければならない理由など)	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 低い	市内学校の営繕及び設備に要する資金を造成し、児童及び生徒の愛林思想の養成並びに林業教育の振興を図っている。			
2. 成果 (市民福祉の向上は図られているかなど)	<input type="checkbox"/> 向上した <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 低下した	—			
3. 要望 (市民・団体・議会からの要望など)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—			
4. 行財政改革(改善・改革等)の取組	事務事業の休止・廃止など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
	コスト削減など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
	他の事業との統合や民間委託など	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—		
<今後の方向性>					総合判定
学校林管理期間の長期化や木材価格の低迷等により、資金造成の効果が低くなっていることから、今後、廃止を含めた制度の見直しを行っていく。					継続